

FUJIFILM X100T

使用説明書

この	使用説明書について			
	はじめに	1		
7.0				
رائ	カガンフレント	_		4 5
	各部の名称	3	ノアインター切換レハー	15
	セレクターホタン	6	DISP/BACKホタン	17
	コマンドダイヤル	7	視度調整ダイヤル	22
	シャッタースピードダイヤルと絞りリング	8	インジケーターランプ	23
	VIEW MODEボタン	13	DRIVEボタン	24
画面	面表示			
	撮影時:光学ファインダー(OVF)	25	再生時:電子ビューファインダー(EVF)/	30
	撮影時:電子ビューファインダー(EVF)/	27	液晶モニター(LCD)	
	液晶モニター(LCD)			
撮影	じの準備			
	ストラップを取り付ける	32	電源をオンにする/オフにする	43
	バッテリーを充電する	34	初期設定を行う	45
	バッテリーとメモリーカードを入れる	38		
静」	上画の撮影と再生			
	静止画を撮影する	48	画像を消去する	59
	静止画を再生する	53		
_				
動画	国の撮影と再生			
	動画を撮影する	62	動画を再生する	65
撮影	ダモード			
	プログラム	68	絞り優先	72
	シュッシュ	70	マニュアル	74
		,0		, ,
Q	(クイックメニュー)ボタン			
	Qボタンを使う	76		
Fn	(ファンクション)ボタン			
	機能の割り当てを変更する	78		

いろいろな撮影			
ブラケティング撮影をしたい	82	AE/AFロック撮影したい	104
連続撮影したい(連写)	84	ピント合わせの方法を変えたい(フォーカスモード)	108
画像を重ねあわせて撮影したい(多重露出)	85	M(マニュアルフォーカス)で撮影したい	111
パノラマ画像を撮影したい	88	明るさの測定方法を変更したい(測光モード)	115
近距離撮影したい(マクロ)	91	RAW画像を撮影したい	117
セルフタイマーを使って撮影したい	93	長時間露出で撮影したい	119
インターバルタイマーを使って撮影したい	94	フィルムシミュレーションを使って撮影したい	121
フラッシュ撮影したい	96	ホワイトバランスを変更したい	123
フォーカスエリアを変更したい	98	フィルター効果を加えて撮影したい	127
露出を補正したい	102	(アドバンストフィルター)	
撮影メニュー			
撮影メニューの使い方	128	ファンクション(En)設定	157
工場出荷時の設定値一撮影メニュー	129	面面のカスタマイズ	158
オートフォーカス設定	133	日田のカバノ・マス	159
点度 成度	137		162
画像サイブ	138	アドバンフトフィルター	163
	130	インターバルタイマー提影	164
回見てて	140	ヤルコタイマー	166
フィルム・シミュレーション	1/1		167
	1/12		169
	142		160
	143	四元 別光のフォーカフェリマ連動	170
ハノー ミャープウフ	144	魚儿&ノオーカスエリア建動 去日補正	171
	145	小白袖止 进工 前面	171
	140	御止則凹物記録	172
ンヤトリトーノ	147	ノフッシュモート	175
ノイスリタクンヨノ	148	ノフッシュ詞元相止	175
	149	ンヤッタークス	1/6
ホリイトハランス	150	割回設定	1//
カスダム選択	154	リイヤレ人通信	179
ガスダム豆球/ 補朱	155		
再生メニュー			
冉生メニューの使い方	180	フォトフックアシスト	191
RAW現像	181	アッフロード先設定	193
消去	183	ビクチャーサーチ	194
トリミング	185	画像コピー	195
リサイズ	186	フリント予約(DPOF)	196
プロテクト	187	instaxプリンタープリント	199
画像回転	188	表示比率	201
赤目補正	189	ワイヤレス通信	202
スライドショー	190	PC保存	203
セットアップメニュー			
セットアップメニューの使い方	204	セレクターボタン設定	222
工場出荷時の設定値―セットアップメニュー	206	クイックメニュー登録/編集	223
日時設定	209	消費電力設定	224
世界時計	210	シャッター回数	225
言語/LANG.	211	ファイル名編集	226
リセット	212	ワイヤレス設定	227
マナーモード	213	PC保存先設定	228
コマNO.	214	位置情報設定	229
フォーカスリング	215	instaxプリンター接続設定	230
フォーカスチェック	216	色空間	231
音設定	217	フォーマット	232
表示設定	218		

通信と外部接続			
無線LAN機能を使用する	233	プリンターにカメラをつないでプリントする	237
カメラをパソコンに接続して画像を転送する	235	テレビに接続する	244
アクセサリー			
クリップオンフラッシュ	245	コンバージョンレンズ	249
電池/バッテリー/充電器関連	246	ステレオマイク	250
リモートレリーズ	247	その他	251
付録			
トラブルシューティング/FAQ	255	お取り扱いにご注意ください	273
警告表示	263	各撮影モードで使用できる機能について	279
仕様	268	アフターサービスについて	282
リンク	271	索引	284

はじめに

- この使用説明書のあらゆるページの内容は、事前の予告無しに変更あるいは削除することがあります。あらかじめご了承ください。
- この使用説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

付属品一覧

• 充電式バッテリーNP-95(1個)



• バッテリーチャージャーBC-65N(1式)



• 専用USBケーブル(1本)



•レンズキャップ(1式)



• ストラップリング取り付け補助具(1個)



• ストラップリング(2個)



- ストラップリングカバー(2枚)
- ショルダーストラップ(1本)
- 使用説明書
- 保証書(1部)

各部の名称



- 1 シャッターボタン
- (2) 露出補正ダイヤル
- 3 シャッタースピードダイヤル
- ④ ホットシュー
- (5) フラッシュ
- 6 マイク (L)
- (7) ハイブリッドビューファインダー
- (8) ストラップ取り付け部
- (9) フォーカスモード切換スイッチ
- 10 絞りリング
- 11 フォーカスリング
- *1 レンズアクセサリーを取り付けるときにはずします。

- (12) レンズ
- (13) フロントリング(*1)
- 14 AF補助光ランプ

セルフタイマーランプ

- 15 ファインダー切換レバー
- (16) マイク(R)
- 17 電源レバー
- (18) Fn ボタン(ファンクション1)
- 19 バッテリー取り外しつまみ
- 20 メモリーカードスロット
- 21 バッテリー挿入部



- 25 DCカプラーカバー
- 26 バッテリーカバーロック
- 27 バッテリーカバー

- 32 マイクロUSB端子
- 33 マイクロHDMI端子(*2)
- *2 HDMIケーブルは、長さが1.5 m以内のものをご使用ください。



- 34 視度調節ダイヤル
- 35 VIEW MODE ボタン
- 36 ▶ (再生) ボタン
- 37 💼 (消去) ボタン (再生時)

Fn ボタン(ファンクション6)

38 Wi-Fi ボタン

Fn ボタン(ファンクション7)

39 DRIVE ボタン

- (40) AEL/AFL (AEロック/AFロック) ボタン
- (4) インジケーターランプ
- (42) Q ボタン
- ▲3 セレクターボタン (▲、▼、▲、▶、
 MENU/OK) /ファンクションボタン
- 44 DI SP/BACK (表示/戻る) ボタン

セレクターボタン



(1) MENU(メニュー)/OKボタン

- (2)上に移動(▲)、マクロ、ファンクション2ボタン
- (3) 左に移動(┥)、フィルムシミュレーション、ファンクション3ボタン
- 👍 右に移動(🍉)、ホワイトバランス、ファンクション4ボタン
- (5) 下に移動(▼)、フォーカスエリア選択、ファンクション5ボタン

✓ MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に が表示され、セレクターボタンと Q ボタンが

使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。 再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

✓ MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと

関連項目

● 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ

コマンドダイヤル



コマンドダイヤルは、メニューなどの選択の他に以下のような機能にも使えます。



- 再生時に画像を拡大表示/マルチ再生(56、58ページ)
- クイックメニューの設定値変更(77ページ)
- プログラムグラムシフトの設定値変更(69ページ)
- ●シャッタースピードの設定値変更(71、75ページ)
- フォーカスエリアのサイズ変更(101ページ)

また、コマンドダイヤルの中央を押すと、以下のような機能が使えます。



- 拡大してピントを確認(110ページ)
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示(55ページ)

シャッタースピードダイヤルと絞りリング

シャッタースピードダイヤルと絞りリングの設定で、撮影モード(P、S、A、M)を設定します。



- シャッタースピードダイヤル
- (2) 絞りリング

P(プログラム)モード

プログラムシフトができるオートモードです。



絞り:A



シャッタースピード:A



S(シャッタースピード優先)モード

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定するモードです。



絞り:A



シャッタースピード:任意



▲(絞り優先)モード

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定するモードです。



絞り:任意



シャッタースピード : A



M (マニュアル) モード

シャッタースピードと絞り値を撮影者が設定するモードです。



絞り:任意



シャッタースピード:任意



VIEW MODEボタン

VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダーと液晶モニター(LCD)の表示が以下のように切り換わります。



- (1) **アイセンサー**: ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
- VIEWFINDER ONLY: ファインダーにのみ表示します。
- (3) LCD ONLY: 液晶モニターにのみ表示します。
- ④ VIEWFINDER ONLY + ①: ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、 ファインダーに自動的に表示されます。



ファインダー切換レバー

ファインダー切換レバーで、ハイブリッドビューファインダーの表示を光学ファインダー(OVF)または電子ビューファインダー(EVF)に切り換えることができます。OVF表示では、電子式レンジファインダー(ERF:2画面表示)にすることもできます。



ファインダーレバーをそれぞれの方向に引くと、以下のように画面が切り換わります。



3 ERF(2画面)

Nイブリッドビューファインダー(OVF/EVF/ERF)について OVF/EVF/ERFにはそれぞれ以下の特徴があります。			
画面	説明		
OVF	 光学式であるため、被写体をクリアに見ることができます。また、被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。 写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなっています。 ファインダーとレンズが別の場所についているため、視差(パララックス)が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。 		
EVF	 撮影後の画像をファインダーで確認できます。 ファインダー視野率100%のため、いつでも正確にフレーミングができます。 ピントや被写界深度、明るさ、ホワイトバランスをライブビューで確認できます。 		
ERF (2画面)	光学ファインダー上でピントの確認ができます。画面の右下にピント位置が拡大表示さ れます。		

ファインダーの表示が見にくいときは、セットアップメニューの表示設定 > EVF明るさ、EVF鮮
 やかさ で、ファインダーの明るさや鮮やかさを調整できます。

関連項目

● 表示設定(セットアップメニュー):218ページ

DISP/BACKボタン

撮影モードまたは再生モードで DISP/BACK ボタンを押すごとに表示が切り換わります。



撮影時:光学ファインダー(OVF)



- 1 スタンダード
- 情報表示なし

DISP/BACKボタン

撮影時:電子ビューファインダー(EVF)



1 スタンダード

2 情報表示なし

撮影時:液晶モニター(LCD)



1 スタンダード

1
 2
 1
 4
 4
 5
 4
 5
 4
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5
 5

3 INFO画面



スタンダードの画面カスタマイズについて

撮影時の 1 スタンダード画面に表示したい項目は、撮影メニューの 画面のカスタマイズ で選択できます。OVFとEVF/LCDのそれぞれを個別に設定できます。

- 1. スタンダードの画面になるまで DISP/BACK ボタンを押します。
- 2. 撮影メニューから 画面のカスタマイズ を選びます。

- **3. OVF** または EVF/LCD のいずれかを選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 4. 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 ▼ が表示されます。 ▼ が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押 すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF時の距離指標
- MF時の距離指標
- ヒストグラム
- 絞り/シャッター速度/ISO
- 露出補正バー
- 測光

- フラッシュ
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ&画質モード
- 動画モード&録画時間
- バッテリー残量表示
- 各項目を設定し、DISP/BACK ボタンを押します。
 設定が保存されます。
- 6. もう一度 DISP/BACK ボタンを押します。

撮影画面に戻りますので、表示内容を確認してください。

▶● 電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重な るよう、カメラの傾きを調整してください。





視度調整ダイヤル

ファインダーの表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファイン ダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。



インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯/点滅で、カメラの状態がわかります。



緑色点灯 被写体にピントが合っています。

緑色点滅 手ブレ警告、AF警告、AE警告です(撮影できます)。

緑と橙色の交互点滅 メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています(続けて撮影できます)。

橙色点灯 メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています(撮影できません)。

橙色点滅 フラッシュ充電中です(フラッシュは発光しません)。

赤色点滅 画像記録異常、またはレンズ異常です。

✓ 画面にも、警告表示が表示されます。

✔ ファインダーをのぞいているときは、インジケーターランプは点灯/ 点滅しません。

パソコンに接続してバッテリーを充電しているときのインジケータランプについて パソコンに接続してバッテリーを充電しているときにカメラの電源をオフにしている場合は、インジ ケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

DRIVEボタン

DRIVE ボタンを押すと、連写やブラケティング撮影が選べます。



Ó	1コマ撮影
J 10 2 2 ≋ 8	
(SHUS)	

- ▲ 1コマ撮影
- **山** 連写
- AEブラケティング
- ISOブラケティング
- ▶ フィルムシミュレーションブラケティング
- ホワイトバランスブラケティング
- Image: Image
- 多重露出
- ぐるっとパノラマ
- アドバンストフィルターを設定しているときは、DRIVE ボタンは使用できません。アドバストフィルターによる撮影は、常に1コマ撮影となります。

撮影時:光学ファインダー (OVF)

撮影時のOVF画面には、次の情報が表示されます。

説明のため情報はすべて表示しています。



- 1 NDフィルター
- 2 被写界深度確認
- ③ コンバージョンレンズ
- 4 位置情報取得状態
- (5) モニター晴天モード
- (6) 動画モード
- (7) 動画撮影の残り時間
- (8) 内蔵メモリー*
- (9) 撮影可能枚数
- 10 画像サイズ・画質モード
- (11) バッテリー残量表示
- (12) ブライトフレーム

- シャッタースピード
 AEロック
 測光モード
 撮影モード
 右魚マーク
 マニュアルフォーカス
 AFモード
 ヒストグラム
 マナーモード
 ボタンロック
- 31 ダイナミックレンジ
- 32 フィルムシミュレーション

13 AFフレーム	33 ホワイトバランス
14 AF警告	34 シャッター方式
15 温度警告	35 連写モード
16 電子水準器	36 セルフタイマー
17 距離指標バー	37 マクロ (近距離)
18 ISO感度	38 マイク/リモートレリーズ設定
19 露出インジケーター	39 フラッシュ・フラッシュ調光補正
(20) 絞り値	

* m はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。



撮影時:電子ビューファインダー(EVF)/液晶モニ ター(LCD)

撮影時のEVF/LCD画面には、次の情報が表示されます。

9 説明のため情報はすべて表示しています。



- 1 NDフィルター
- 2 フォーカスチェック
- 3 被写界深度確認
- ④ コンバージョンレンズ
- (5) 位置情報取得状態
- 6 モニター晴天モード
- (7) 動画モード
- (8) 動画撮影の残り時間
- (9) 内蔵メモリー*
- 10 撮影可能枚数

21 ヒストグラム
22 距離指標バー
23 バッテリー残量表示
24 ISO感度
25 露出インジケーター
26 絞り値
27 シャッタースピード
28 AEロック
29 測光モード
30 撮影モード

11 画像サイズ・画質モード	31 合焦マーク
12 日付・時刻	32 マニュアルフォーカス
13 AFフレーム	33 AFモード
14 ホワイトバランス	34 シャッター方式
15 フィルムシミュレーション	35 連写モード
16 ダイナミックレンジ	36 セルフタイマー
17 AF警告	37 マクロ (近距離)
18 温度警告	38 マイク/リモートレリーズ設定
19 ボタンロック	39 フラッシュ・フラッシュ調光補正
20 マナーモード	40 電子水準器

* m はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

🗣 EVFの縦表示について

セットアップメニューの 表示設定 > EVF 縦横自動回転表示 が ON のときは、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダーの表示が縦向きになります。

9999 ■N 01.05 10 15 20 30 50 10 % 10 15 200 5.6 1.1.1	
● 液晶モニター(LCD)の表示は、	縦向きにはなりません。

セットアップメニューの表示設定 > EVF明るさ、EVF鮮やかさ、LCD明るさ、LCD鮮やかさで、 画面の明るさや鮮やかさを調整できます。



再生時:電子ビューファインダー(EVF)/液晶モニ ター(LCD)

再生時の画面には、次の情報が表示されます。

- B 説明のため情報はすべて表示しています。
- OVFでの再生表示はありません。



③ プレゼント	21 再生モード
10 フォトブックアシスト	22 アップロード先設定
11 プリント予約	23 お気に入り
12 バッテリー残量表示	

ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

1. ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップ リングの切りこみを広げます。



ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

2. ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



3. ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



4. ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

反対側も同様に、手順1~4を繰り返して取り付けます。



5. ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



6. ストラップを止め具に通します。

反対側も同様に、手順5~6を繰り返して取り付けます。



ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。
バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーはNP-95です。
- 充電時間は、約4時間です。
- 1. バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。
 - ⊖ ① ⊕ 表示にしたがって、下図の方向で正しくセットしてください。



- 1 充電ランプ
- 2 指標(矢印)
- 3 ⊖ ① ⊕ 表示



- 付属のACコードは、バッテリーチャージャーBC-65N専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。
 充電ランプが点灯して、充電を開始します。
- 3. 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

🍢 充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ラ ンプ	バッテリーの状 態	対処
消灯	バッテリー未装 着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電 (充電 終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャー ジャーから取り外してください

- ・ 同梱されている充電器は100~240Vまで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ♀ 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触(ショート)させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1~2日前)には、バッテリーを 充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ⑦ 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを 接続してください。



- ❶ USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態(スリープ状態)になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態(スリープ状態)を解除したあと、USBケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

 カメラの電源をオンにしているときは画面のアイコンで、	オフにしているときはインジケータラン
プでバッテリーの充電状態を示します。	

電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態
「〇〇」(黄点灯)	点灯	充電中
(緑点灯)	消灯	充電完了
仁!](赤点灯)	点滅	バッテリー異常

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

1. バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像 ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

2. バッテリーを入れます。

図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッ テリーを入れます。



1 バッテリー指標

(2) バッテリー取り外しつまみ

- バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがありますので、指標(矢印)の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認して、正しい向きで挿入してください。

3. メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音(感触)がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込 みます。



4. バッテリーカバーを閉めます。

バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。



「リーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社およびSanDisk社製のSD/SDHC/SDXCメモリーカードの使用をおすすめします。
- HD動画を撮影するときは、CLASS10以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html を参照してください。その 他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメ ディアカードには対応していません。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録/消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチをLOCK側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラで フォーマットしてからご使用ください(232ページ)。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法がSDメモリーカード規格から外れているminiSDアダプターやmicroSDアダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォル ダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファ イルの編集/削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再 生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする/オフにする

電源レバーを ON に合わせると、電源がオンになります。OFF に合わせると、電源がオフになります。



- ✔ 撮影中に ▶ (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- ✔ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- ✓ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの消費電力設定 > 自動電源OFF では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを長く半押しするか、いったん電源レバーを OFF にしてから再度 ON にすると、撮影モードでオンになります。

レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

▶ バッテリー残量の表示				
画面の表示で、	バッテリー残量を確認できます。			
	バッテリーの残量は十分にあります。			
-	バッテリーの残量は約2/3です。			
	バッテリーの残量は約1/3です。できるだけ早く充電してください。			
(赤点灯)	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。			

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

✓ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで、日時設定 または 言語/LANG. を選んだあとに、以下の手順で設定できます。



1. 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



- 2. ▲▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3. ▲▼ で年月日の並び順を設定します。



4. 年、月、日、時、分を設定します。

▲▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



5. MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。

バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その 場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

🍢 設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語、日時を変更する

- 1. セットアップメニューから 言語/LANG. または 日時設定 を選びます。
- 2. 言語または日時を設定します。
 - 言語設定: ▲ ▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。
 - 日時設定: ◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。
- 3. MENU/OK ボタンを押して、設定します。

静止画を撮影する

ここでは、プログラム(P)撮影の基本的な流れを説明します。

1. カメラの設定をプログラム(P)撮影の設定にします。



- **1** シャッタースピード : A (オート)
- 2 露出補正:±0
- **③ フォーカスモード**: S (シングルAF)

4 絞り設定:A(オート)

表示画面に Р が表示されます。



OVF 画面

	285m20s	9999 LF	
•			800
E 160	+ 2.0 🝙 Willingutut	3 24800 🛥	

EVF/LCD 画面



ファインダーを覗いたときは、ファインダー切換レバーで、ハイブリッドビューファインダーの 表示を光学ファインダー(OVF)または電子ビューファインダー(EVF)に切り換えることがで きます。



2. カメラを構えます。

手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



3. 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



ピントが合ったとき

■ ピピッと音が鳴り、AFフレームが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

■ AFフレームが赤色に変わり、!AF が画面に表示されます。



OVF 画面



EVF/LCD 画面

- ✓ 被写体との距離が近すぎる場合は、ピント合わせができません。この場合は、マクロモードで撮影してください。
- ✔ 暗い被写体のピントを合わせやすくするためにAF補助光が発光する場合があります。AF補助 光は発光しないように設定を変更できます。
- ✔ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- 4. シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます(全押しします)。



暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光する場合があります。フラッシュは発光しないように設定を変更できます。

静止画を再生する

1コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示(1コマ再生)されます。





1つ前の画像を見るには

くの画像を見るには

を押します。ボタンを押し続けると、早

送りします。

✔ フォーカスリングを回しても前後の画像を表示できます。

他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに (プレゼントアイコン)が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりするときがあります。

🍢 お気に入りを設定する

1コマ再生時に DISP/BACK ボタンを押すと、お気に入り のランクが表示され、ランクを設定できます。 ▲ または ▼ で ★ の数(0~5)を設定します。

撮影時の情報確認

1コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲ を押すごとに、表示が切り換わります。



ピント位置の確認

コマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1コマ再生に 戻ります。





再生ズーム

1コマ再生時にコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、 DISP/BACK ボタンまたは MENU/OK ボタンを押します。

✔ 1コマ再生画面でコマンドダイヤルを左に回すと、「マルチ再生」の9コマ再生画面になります。



- ズームバー
- 2 右に回すと拡大
- 3 左に回すと縮小
 - ✓ 最大ズーム倍率は、撮影メニューで設定した 画像サイズ によって変わります。
 - ▲ 再生メニューの リサイズ または トリミング の で保存された画像は、再生ズームは使えません。



マルチ再生

1コマ再生時にコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ(マイクロサムネイル)の一覧を表示できます。

▶ 1コマ再生画面でコマンドダイヤルを右に回すと拡大画像が表示されます。





コマンドダイヤルを左に回すたびに表示される画像が増えます。

(2) コマンドダイヤルを右に回すたびに表示される画像が減ります。

• ▲▼▲▶ で画像を選び、MENU/OK ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。

• ▲ または ▼ でページを切り換えることもできます。

画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパ ソコンにコピーしておいてください。

1コマ再生時に 📻 ボタンを押して、消去方法を選びます。



1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1. 1コマ再生中に 📶 ボタンを押して、1コマ を選びます。
- 2. 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。
- ✓ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を
 する画像を
 すこ選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

複数指定消去

▼ が表示されている画像をまとめて消去できます。



✔ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 💵 が表示されます。

- 1.1コマ再生中に 🗂 ボタンを押して、複数指定 を選びます。
- 2. 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は 🔽 が表示されます。
 - もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
- まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。
 消去実行画面が表示されます。
- 4. 実行 を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

- 1. 1コマ再生中に 📻 ボタンを押して、全コマ を選びます。
- 2. 実行 を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
- ✓ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
- ✓ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- ✓ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- **1. Fn**(ファンクション1)ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。
 - ✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション1ボタンには、動画 が割り当てられています。ファン クションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。



(1) 撮影中は、 ● が表示されます。

- (2) 動画撮影の残り時間(カウントダウン)が表示されます。
- 2. もう一度 Fn ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。

- ✔ 撮影する動画の画像サイズ・フレームレートと感度の設定は、撮影メニューの 動画設定 で変更できます。
- ✓ 撮影モードが M、A、S のときに動画を撮影すると、静止画撮影で撮影している設定の動画が撮影できます。その他の撮影モードではオート設定の動画が撮影されます。
- ✓ M、A、S では、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値を変更できます。
- ♪ 動画撮影時のOVF表示は、自動的にEVF/LCDになります。
- ✓ 動画撮影時のERF表示では、画面の右下にはEVFと同じ画面が表示されます。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- 動画設定(撮影メニュー):177ページ

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。



身部マイクのプラグはバスパワーを必要としないφ2.5mm ピンで取り付けるものをご使ください。

✓ マイク/ リモートレリーズ端子に外部マイクを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。 MENU/OK ボタンを押して、マイク/ リモートレリーズ設定 を マイク に設定してください。



動画を再生する

1コマ再生時の動画には、 🔛 が表示されます。

2050.12.31 10:00 AM	1	100-0002
1		
1		
-		
-		
-	▼ 再生	
, **	∎±0 _{iso} 400	20 C

▼ を押すと、動画が再生されます。動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。





▲ 再生中に MENU/OK ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。 ▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、MENU/OK ボタンで決定します。動画の再生音量は、セットアップメニューの 音設定 > 再生音量 でも設定できます。



Pプログラム

プログラム(P)では、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

プログラムで撮影するには、絞り設定を A、シャッタースピードダイヤルを A に設定します。



絞り:A



シャッタースピード : A



			Ę	# 42s		32		
0								
								100
	#6							
	P [0]	ss 30	<mark>⊫</mark> 2.0	Z 1.1.1.	1.1.3.3	器80)() 🚥	

被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「----」と表示されます。


Sシャッタースピード優先

シャッタースピード優先(S)では、設定した シャッタースピードに合わせて、カメラが絞り値を自動的に 決定します。

シャッタースピード優先で撮影するには、絞り設定を A、シャッタースピードダイヤルを撮影したいシャッタースピードに設定します。



絞り:A



シャッタースピード:任意





シャッタースピード



- 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

A絞り優先

絞り優先(A)では、設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。 絞り優先で撮影するには、シャッタースピードダイヤルを A に、絞り設定を撮影したい絞り値に設定しま す。



絞り:任意



シャッタースピード : A







- 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- セットアップメニューの 消費電力設定 > OVF撮影枚数UP が ON のときは、最長シャッタース ピードは1/4秒になります。
- 設定した絞り値によって、設定できるシャッタースピードに制限があります。

▶ 被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、撮影メニューの **ファンクション(Fn)設定** でファンクションボタンに 被写界深度確認 を設定します。設定後割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値 の被写界深度が確認できます。

関連項目

● 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ

Mマニュアル

マニュアル(M)では、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー(明るい)」または「アンダー(暗い)」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。 マニュアルで撮影するには、露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



絞り:任意



シャッタースピード:任意





- 2 絞り値
- 3 露出インジケーター



● 設定した絞り値によって、設定できるシャッタースピードに制限があります。

▶ 露出設定プレビューについて

セットアップメニューの 表示設定 > マニュアル時モニター露出反映 が ON のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



✓ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出反映 を OFF にしてください。

Qボタンを使う

Qボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

1. 撮影画面で Q ボタンを押します。

クイックメニューが表示されます。



クイックメニューに表示させるメニュー項目は、セットアップメニューの クイックメニュー
登録/編集で、入れ換えることができます。クイックメニュー登録/編集画面は、撮影画面で
Q ボタンを長押しすると表示できます。

2. 設定を変更するメニュー項目を ▲▼◀▶ で選びます。



Q ボタンの設定変更では、ホワイトバランスのカスタムと 色温度設定の設定と感度の AUTO設定の設定は変更できません。ファンクションボタンまたは撮影メニューで設定して ください。

3. コマンドダイヤルで設定値を選びます。



4. Q ボタンを押します。

表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

✓ クイックメニュー表示中に Q ボタンを長押しすると、カスタム登録/編集画面を表示できます。

関連項目

● クイックメニュー登録/編集(セットアップメニュー):223ページ

機能の割り当てを変更する

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り換 えたり、設定画面を呼び出したりできます。DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタン の割り当て設定画面を表示できます。





割り当てられる機能は次のとおりです。

- アドバンストフィルター
- 多重露出
- ・マクロ
- 被写界深度確認
- 感度
- セルフタイマー
- 画像サイズ
- 画質モード
- ダイナミックレンジ
- フィルムシミュレーション
- ホワイトバランス
- NDフィルター
- 測光
- AFモード

- フォーカスエリア選択
- AFフレーム補正
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- カスタム選択
- 動画
- 顔キレイナビ
- モニター撮影効果反映
- ハイパフォーマンス
- RAW
- ワイヤレス通信
- コンバージョンレンズ
- シャッター方式

- ファンクションボタンの割り当ては、撮影メニューのファンクション(Fn)設定からも設定できます。
- それぞれのファンクションボタンを長押しすると、それぞれのボタンの割り当て設定画面を表示できます。



• Fn1ボタン



● Fn2ボタン



• Fn3ボタン



• Fn4ボタン



• Fn5ボタン



● Fn6ボタン



● Fn7ボタン



関連項目

● ファンクション(Fn)設定(撮影メニュー):157ページ

ブラケティング撮影をしたい

ー度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。DRIVEボタンを押して使用したいブラケティングの種類を選びます。



AEブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ(露出)を「適正」、「オーバー(明るい)」、「アンダー (暗い)」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。露出を変える範囲は、AEブラケティングを選んで から **▲**▶ で選べます。

アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで 撮影されません。

ISOブラケティング

撮影した1枚の画像から、ISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。ISO感度の変化する段階は、ISO ブラケティングを選んでから **▲**▶ で選べます。

✓ 画質モード で RAW を選んでいるときは、使用できません。

フィルムシミュレーションブラケティング

撮影した1枚の画像から、フィルムシミュレーションの設定をそれぞれ選んだ設定に変化させて3枚の画像を 作成します。変化させるフィルムシミュレーションのそれぞれの設定は、撮影メニューの フィルムシミュ レーションBKT で変更します。

✓ 画質モード で RAW を選んでいるときは、使用できません。

関連項目

● フィルムシミュレーションBKT(撮影メニュー):142ページ

ホワイトバランスブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスで設定されている色温度を設定したステップずつ変化させて3枚の画像を作成します。ステップ幅を変える範囲は、ホワイトバランスBKTを選んでから ◀▶ で 選べます。

✓ 画質モード で RAW を選んでいるときは、使用できません。

ダイナミックレンジブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に 変えながら、3コマ連続で撮影します。

✓ 感度は自動的に800以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

✓ 画質モード で RAW を選んでいるときは、使用できません。

連続撮影したい(連写)

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。DRIVE ボタンを押して連写を選びます。



•	低速
đ	e e
150	
17	
WB	
DR	
5	
\$30HUR	

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。連写を選んでから **イト** で、連写速度を選びま す。

ピントや露出について ピントや露出を自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを C に設定してください。 ● その他の設定で連写撮影すると、ピントや露出は1コマ目を撮影したときに決定され、途中で 変えられません。 ● 絞りやISO感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効になら。 ない場合があります。

画像を重ねあわせて撮影したい(多重露出)

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



1. DRIVE ボタンを押して、ドライブ設定画面を表示させます。



2. 多重露出 を選び、MENU/OK ボタンを押します。

撮影画面になります。



3.1枚目の画像を撮影します。

4. MENU/OK を押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



- ✔ DISP/BACK を押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。
- 5.2枚目の画像を撮影します。



✓ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。

6. MENU/OK ボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。



✔ 2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

パノラマ画像を撮影したい

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。

1. DRIVE ボタンを押して、ドライブ設定画面を表示させます。



2. ぐるっとパノラマ を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3. 撮影する角度(撮影画角)を選びます。

◀ を押して撮影画角変更画面を表示させ、▲ または ▼ で撮影する角度を選び、MENU/OK ボタンを押します。



4. 撮影方向を選びます。

▶ を押して撮影方向変更画面を表示させ、▲ または ▼ で撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。

5. シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

6. 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



✓ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が120度以下の場合は、パノラマ写真は保存されません。

馰 うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
- カメラを地面と平行(水平)に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。

- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 日 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 9 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- ♀ 以下の場合は、ぐるっとパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン

パノラマ画像の再生

1コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。

近距離撮影したい(マクロ)

被写体との距離が近いときは、マクロモードを使用します。▲ ボタンを何度か押して、マクロモードを設定します。

✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション2ボタン(▲)には、マクロ が割り当てられています。
ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。

✓ マクロは、撮影メニューのオートフォーカス設定からも設定できます。





		PR 336	30	∎F	
0					100
	<i>1</i> 46				
	P (@) 5530	₽ 2.0 ₪ ???	: \$ 8 8)) ത	

OFF マクロモードを設定しません。

💭 マクロ マクロモードを設定します。

- マクロモードを使用できるのはEVF/LCDの場合のみです。OVF/ERFに設定されている場合、自動的 にEVFに切り換わります。
- ✓ EVF/LCDでは、▲ ボタンを押さなくても自動的に近接撮影できますが、ピントが合うまでの時間がかかる場合があります。
- ✓ フラッシュ使用時に近距離で撮影すると、レンズの影が写ることがあります。その場合は、被写体 との距離を少し離して撮影してください。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- オートフォーカス設定(撮影メニュー):133ページ

セルフタイマーを使って撮影したい

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラ が動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、撮影メ ニューの **セルフタイマー** で設定します。



- ▲ ▼ でセルフタイマーを選び、MENU/OK ボタンを押します。
 - 改 シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影されます。
 - 🔥 シャッターボタンを全押ししてから10秒後に撮影されます。
 - OFF セルフタイマーを使用しません。

(10秒後撮影)では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
(2秒後撮影)では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

インターバルタイマーを使って撮影したい

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

1. 撮影メニューから インターバルタイマー撮影 を選びます。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



2. ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。 開始時間設定画面が表示されます。



3. ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。

パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- ✓ 三脚のご使用をおすすめします。
- ✔ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- ✔ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ✔ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

フラッシュ撮影したい

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

✓ 各撮影モードで使用できるフラッシュモードは「各撮影モードで使用できる機能について」 (279~281ページ)でご確認ください。

フラッシュモードは、撮影メニューのフラッシュモードで設定します。



- ▲ ▼ でフラッシュモードを選び、MENU/OK ボタンを押します。
 - オート ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが 発光します。
 - **4 (強制発光)** 周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗く なっているときなどに使います。
- (スローシンクロ) 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 - **「「(コマンダー)** スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。
- **ド(外部フラッシュ)** 富士フイルム製以外の外部フラッシュを使用するときに設定します。
 - (発光禁止) フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
- ✔ 電子シャッター使用時は、フラッシュモードが発光禁止に固定されます。
- ✔ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に 🛃 が表示されます。
- 「フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します(コマンダーモードを除く)。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ✔ フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は1/2000秒以下です。
- ✔ このカメラでは、富士フイルム製のクリップオンフラッシュが使用できます。

■ 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電時間が長くなります。

🍢 赤目軽減について

顔キレイナビと赤目補正をそれぞれ ON にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 ♀ (赤目軽減オートフラッシュ)、 ● ◆ (赤目軽減+強制発光フラッシュ)、 ● ◆ (赤目スロー)から設定できます。

(赤目軽減オートフラッシュ)は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影 したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

関連項目

◆ 各撮影モードで使用できる機能について(付録): 279~281ページ

フォーカスエリアを変更したい

撮影メニューの オートフォーカス設定 > AFモード で エリア選択 を選んでいるときは、ピント合わせのエリアを変更できます。

1. ▼ ボタンを押します。

フォーカスエリア選択の設定画面が表示されます。

- ✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション5ボタン(▼)には、フォーカスエリア選択が割り 当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更 する」をご覧ください。
- ✓ フォーカスエリア選択は、撮影メニューのオートフォーカス設定からも設定できます。







1 フォーカスエリア

2 フォーカスエリアポイント

- 2. フォーカスエリアの位置やサイズを変更します。
 - ▲ ▼ ◀ ▶ で、 ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。



✔ DISP/BACK ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

■ コマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。



✓ 左に回すとサイズが小さく(最小50%)、右に回すとサイズが大きく(最大150%)なります。コマンドダイヤルの中央を押すと、100%に戻ります。

- 3. MENU/OK ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。
- ✓ セットアップメニューの セレクターボタン設定 で フォーカスエリア を選んでいるときは、▼ ボ タンを押さなくても ▲▼ ◀▶ でフォーカスエリアの位置を直接変更できます。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- オートフォーカス設定(撮影メニュー):133ページ
- セレクターボタン設定(セットアップメニュー):222ページ

露出を補正したい



画像の明るさを調整できます。露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。

		📅 5=20s	9999 🗊 F 🚥	
a				
103				
	AF-S	-2 -2 -2 -133 -23	ר	
	ss 100	F2		

露出補正バー(OVF)



露出補正バー(EVF/LCD)







(1)+補正(暗い画像を明るくします)

(2) – 補正(明るい画像を暗くします)

♀ OVFを使用しているときは、露出補正バーで確認してください。

1

露出補正の目安

- 逆光の人物撮影: +²/₃ EV ~ +1²/₃ EV
- スキー場などの反射が強く明るい場所: +1 EV
- **画像の大部分を空が占める場合**: +1 EV
- スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合: -2/3 EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合: -2/3 EV

AE/AFロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1. ピントを合わせたい被写体にAFフレームを合わせます。



2. シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントと露出が合い、AFフレームが緑点灯します。





✓ シャッターをきる前なら、AE/AFロックは何度でもやり直せます。

3. 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。



4. そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。




オートフォーカスの苦手な被写体について このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど光沢のあるもの



• 高速で移動する被写体



- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの(背景と同色の服を着ている人物など)
- AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合(コントラストの強い背景の前の被写体など)

関連項目

- AE/AF LOCK設定(撮影メニュー):167ページ
- ◆ AE/AF-LOCK機能選択(撮影メニュー):168ページ

ピント合わせの方法を変えたい(フォーカスモード)

フォーカスモード切換スイッチで、ピント合わせの方法を変更できます。



- M(マニュアルフォーカス) ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手 な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用 します。
 - **C(コンティニュアスAF)** シャッターボタンを半押しすると常にピントを合わせ続けるため、動き のある被写体の撮影に適しています。
 - S(シングルAF) スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

✓ フォーカスモードが S または C のときは、撮影メニューの オートフォーカス設定 > プリAF を ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

()	ヒントか合うところを探しています。	
● (緑点灯)	S のときに、ピントが合って固定されています。	
	C のときに、ピントが合っています。	
(緑点灯)	✓ 被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。	
(白点滅)	ピントが合っていません。	
MF	M のときに表示されます。	

⋗ 拡大表示してピントを確認する

コマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度押す と通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



- ✓ フォーカスモードが S のときは、撮影メニューの オートフォーカス設定 > AFモード を エ リア選択 に設定してください。
- ✓ フォーカスモードが C または撮影メニューの オートフォーカス設定 > プリAF が ON のときは、拡大表示できません。

関連項目

● オートフォーカス設定(撮影メニュー):133ページ

M(マニュアルフォーカス)で撮影したい

マニュアルフォーカスでの撮影方法は以下のように行います。

1. フォーカスモード切換スイッチを M に合わせます。

MF 01 0.5 10 15 20 20 40 12.....

P (@) \$\$30 ⊨ 2.0 ⊠ ???.....

画面に 🔐 が表示されます。

ି ଲିଥି ୫୦୦ - ୧୦୦୦

2. フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



✓ フォーカスリングを回す方向は、セットアップメニュー の フォーカスリング で変更できます。

3. 撮影します。

マニュアルフォーカス時のAEL/AFLボタンについて

AEL/AFL ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせま す。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。素早くピントを合わせたいとき に便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

✓ 撮影メニューのオートフォーカス設定 > ワンプッシュAF時の動作 で、AEL/AFL ボタンの動作を変更できます。AF-S(シングルAF)のときはボタンを押すとピントを合せます。AF-C(コンティニュアスAF)のときはボタンを押している間、ピントを合わせ続けます。

マニュアルフォーカスにおけるピントの確認方法

マニュアルフォーカスでは、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、セットアップメニューの 表示設定 > 距離指標の単位 で メートル か フィート に切り換えられます。



2 被写界深度(青いバー)

拡大表示して確認する(フォーカスチェック)

コマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。セットアップメ ニューの フォーカスチェック が ON のときは、フォーカスリングを回したときも自動的に拡大表示されま す。コマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で 変更できます。拡大表示の方法は、撮影メニューの MFアシスト の設定によって異なります。

✓ コマンドダイヤルの中央を長押しすると、MFアシストの設定を切り換えることができます。

- スタンダード:ピント位置を拡大表示します。
- デジタルスプリットイメージ:画面中央部に白黒のスプリットイメージが表示されます。スプリット イメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写 るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回してフォーカスを調整し てください。



• フォーカスピーキング:コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、 撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



🗣 電子式レンジファインダー(ERF)について

ERF(電子式レンジファインダー)表示のときは、フォーカスチェックの拡大表示画面が画面の右下に 表示されます。



✓ ERF表示では、デジタルスプリットイメージの分割線は中央部の1本のみになります。

関連項目

- フォーカスリング(セットアップメニュー):215ページ
- フォーカスチェック(セットアップメニュー):216ページ
- 表示設定(セットアップメニュー):218ページ
- MFアシスト(撮影メニュー):162ページ

明るさの測定方法を変更したい(測光モード)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ(露出)にならないときに使用します。ファンクション6 (m)ボタンを押して、測光モードを変更します。

- ✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション6ボタンには、測光 が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✔ 測光は、撮影メニューからも設定できます。







- (マルチ) 被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さま ざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、
 (マルチ)を おすすめします。
- (スポット) 画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 - ✓ オートフォーカス設定 > AFモード が エリア選択 で 測光&フォーカ スエリア連動 が ON のときは、フォーカスエリアの位置に連動して測 光します。測光&フォーカスエリア連動 が OFF のときは画面中央部 で測光します。

[](アベレージ) 画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長 があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- 測光(撮影メニュー):169ページ

RAW画像を撮影したい

RAW画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影したRAW画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューのRAW現像でさまざまな設定を行ってからJPEGに保存(現像)できます。RAW画像は、撮影メニューの画質モードで設定します。

1. MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2. ▲▼ で 画質モード を選択し、MENU/OK ボタンを押します。

画質モードの設定画面が表示されます。

3. ▲ ▼ でRAW画像を選びます。

FINE+RAW FINEで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

NORMAL+RAW NORMALで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

RAW RAWファイルのみを保存します。

4. MENU/OK ボタンを押します。

RAW画像が設定されます。

● 拡張感度を設定しているときは、RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW は選べません。

✓ パソコンでRAW画像を現像するには、パソコンにRAW FILE CONVERTERがインストールされている必要があります。

🍢 ファンクションボタンを使ってRAW画像を撮影する

撮影メニューの **画質モード** で FINE または NORMAL を選択していても、ファンクションボタンに RAW を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけでRAW画像を撮影できます。再度ファ ンクションボタンを押すか、1コマ撮影すると、元の設定(左列)に戻ります。

設定されている画質モード ファンクションボタン(RAWを割り当て済み)を押した場合

FINE	FINE + RAW
NORMAL	NORMAL + RAW
FINE + RAW	FINE
NORMAL + RAW	NORMAL
RAW	FINE

関連項目

● 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ

● RAW FILE CONVERTER (付録/リンク): 271ページ

長時間露出で撮影したい

シャッタースピードダイヤルでタイム撮影(T)またはバルブ撮影(B)を選択すると、長時間露光撮影ができます。

カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

タイム撮影(T)

1. シャッタースピードダイヤルを T に合わせます。



コマンドダイヤルを回して、露光時間を設定します。
 30~2秒の範囲で1/3段刻みで設定できます。



3. シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

▲ 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

バルブ撮影(B)

1. シャッタースピードダイヤルを B に合わせます。



- シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。
 シャッターが開くのは、最大60分間です。
- ✔ 撮影中は、経過時間が表示されます。
- ✔ 絞りを A に設定している場合は、シャッタースピードは30秒に固定されます。
- ✓ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、撮影メニューの 長秒時ノイズ低減 を ON にすると、 ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

フィルムシミュレーションを使って撮影したい

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。 ◀ ボタンを 押して使用したいフィルムを選びます。

✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション3ボタン (◀) には、フィルムシミュレーション が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。

✔ フィルムシミュレーションは、撮影メニューからも設定できます。





フィル	レム シミュレーション	
	PROVIA/スタンダード 標準的な発音と時間で	1
	標準的な発色と階調で 人物・風景など幅広い 被写体に適します	37
		197 Nii

フィルムシミュレーションを使って撮影したい

ጬ(PROVIA/スタンダード)	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適していま す。
🦙 (Velvia/ビビッド)	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適し ています。
💁 (ASTIA/ソフト)	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになりま す。屋外のポートレートに適しています。
に (クラシッククローム)	発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。 落ち着いた表現に 適しています。
Dr (PRO Neg. Hi)	▶ (PRO Neg. Std) に比べて階調をやや硬めにしています。屋 外でのポートレートに適しています。
Ng (PRO Neg. Std)	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつ ながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードで す。
(モノクロ)	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適していま す。
	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が 少し濃くなります。
📴 (モノクロ + Rフィルター)	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃く なります。
📴 (モノクロ + Gフィルター)	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適していま す。
即4 (セピア)	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適していま す。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- フィルム シミュレーション(撮影メニュー):141ページ

ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1.
ドボタンを押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

- ✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション4ボタン (▶) には、ホワイトバランス が割り当て られています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更す る」をご覧ください。
- ✔ ホワイトバランスは、撮影メニューからも設定できます。



ホワイトバランスを変更したい

- **2.** ▲ または ▼ でホワイトバランスを選びます。
 - AUTO(オート) カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
 - 〇(カスタム) 白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します。
 - **(色温度設定)** 色温度を設定します。
 - ※(**晴れ**) 晴天の屋外での撮影用です。
 - ★ (日陰) 曇天や日陰などでの撮影用です。

 - 送(蛍光灯2) 昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 - (蛍光灯3) 白色蛍光灯の下での撮影用です。
 - **人(電球)** 電球、白熱灯の下での撮影用です。
 - (水中) 水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
- 3. MENU/OK ボタンを押します。

WBシフト画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を 調整します。



✓ DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

4. MENU/OK ボタンを押します。

ホワイトバランスが設定されます。

✓ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、AUTOの設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。

✓ 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- ✓ 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。
- 1. ホワイトバランスの設定画面から カスタム を選びます。
- 2. 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

✓ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

- 3. シャッターボタンを全押しして設定します。
 - ✓ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに DISP/BACK ボタンを押します。
- 4. 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。

カスタムホワイトバランスが設定されます。

● 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。「OVER」と表示されたときは−(マイナス)側に、「UNDER」と表示されたときは+(プラス)側に露出補正してから、再度測定してください。

色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

- ✓ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる 画像を意図的に撮影できます。
- 1. ホワイトバランスの設定画面から 色温度設定 を選びます。

色温度の一覧が表示されます。

2. ▲ または ▼ で色温度を選び、MENU/OK を押します。

WBシフト画面が表示されます。

✓ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に DISP/BACK を押してください。

3. ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

4. MENU/OK ボタンを押します。

色温度が設定されます。

🍢 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度(単位:K [ケルビン])で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



関連項目

● 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ

● ホワイトバランス(撮影メニュー):150ページ

フィルター効果を加えて撮影したい(アドバンスト フィルター)

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

使用するフィルターは、撮影メニューのアドバンストフィルターで設定します。

▲ ▼ で使用するフィルターを選び、MENU/OK ボタンを押します。

- ▲ トイカメラ レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
- (A) ミニチュア ジオラマ風に上下をぼかします。
- **魚 ポップカラー** コントラストと彩度を強調します。
 - **(1) ハイキー** 全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
 - (A) ローキー 全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
- **ダイナミックトーン** ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 - A ソフトフォーカス 全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
- (A) パートカラー(レッド) 赤色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A) パートカラー(オレンジ) オレンジ色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A. パートカラー(イエロー) 黄色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- パートカラー(グリーン) 緑色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A) パートカラー(ブルー) 青色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A. パートカラー(パープル) 紫色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。

- ✓ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。
- アドバンストフィルターを使用すると、セットアップメニューの表示設定 > 撮影画像表示は、
 0.5秒 に固定されます。

OFF アドバンストフィルターを使用しません。

撮影メニューの使い方

✔ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

1. MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。



2. ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

3.
で設定の変更に移ります。



- 4. ▲ または ▼ で設定を変更します。
- 5. MENU/OK ボタンを押して、決定します。
- 6. DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

工場出荷時の設定値―撮影メニュー

撮影メニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

セットアップメニューの リセット > 撮影メニューリセット を実行すると、工場出荷時の設定に戻せます。

オートフォーカス設定

	マクロ		OFF
	レリ	ーズ優先/フォーカス優先	
		AF-Sモード時の優先	レリーズ
		AF-Cモード時の優先	レリーズ
	ワン	プッシュAF時の動作	AF-S
	AF₹	Ξ − ド	エリア選択
	顏キ	レイナビ	OFF
	プリ	AF	OFF
	AF褚	間光	ON
	AFJ	クレーム補正	OFF
感度			200
画像サイズ		ズ	3:2
画質モード		۴	FINE
ダイナミックレンジ		ックレンジ	₽100 100%
フィルム シミュレーション		シミュレーション	ഈ PROVIA/スタンダード
フィルムシミュレーション BKT		シミュレーション BKT	
	フィ	ሥム1	ഈ PROVIA/スタンダード
	フィ	<i>I</i> LL2	৾♥ Velvia∕ビビッド
	フィ	μдз	STIA/ソフト
NDフィルター		ター	OFF

工場出荷時の設定値ー撮影メニュー

カラー		(0)標準
シャープネス		(0)スタンダード
ハイライトトーン		(0)スタンダード
シャドウトーン		(0)スタンダード
ノイズリダクション		(0)スタンダード
長秒時ノイズ低減		ON
ホワイトバランス		Αυτο
ファ	マンクション (Fn) 設定	
	Fn1	動画
	Fn2	マクロ
	Fn3	フィルム シミュレーション
	Fn4	ホワイトバランス
	Fn5	フォーカスエリア選択
	Fn6	測光
	Fn7	ワイヤレス通信

	□ フレーミングガイド
	□ 電子水準器
	□ AF時の距離指標
	✓ MF時の距離指標
	□ ヒストグラム
	✓ 絞り/シャッター速度/ISO
	☑ 露出補正バー
	☑ 測光
画面のカスタマイズ(OVF、EVF/LCD)	☑ フラッシュ
	▼ ホワイトバランス
	🔽 フィルム シミュレーション
	☑ ダイナミックレンジ
	▶ 撮影可能枚数
	▶ 画像サイズ&画質モード
	▼ 動画モード&録画時間(EVF/LCD)
	🔲 動画モード&録画時間(OVF)
	▼ バッテリー残量表示
コンバージョンレンズ	✓ バッテリー残量表示OFF
コンバージョンレンズ MFアシスト	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター	 ▼ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK 設定 AE/AF-LOCK 機能選択	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 AE/AF-LOCK機能選択 測光	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 測光 測光&フォーカスエリア連動	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ ON
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 測光 測光&フォーカスエリア連動 赤目補正	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ ON OFF
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 AE/AF-LOCK機能選択 測光 測光&フォーカスエリア連動 赤目補正 補正前画像記録	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ ON OFF OFF OFF OFF OFF OFF OFF OFF
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 AE/AF-LOCK機能選択 測光 ブまーカスエリア連動 赤目補正 補正前画像記録 フラッシュモード	 バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ ON OFF OFF OFF SR光禁止
コンバージョンレンズ MFアシスト アドバンストフィルター セルフタイマー AE/AF-LOCK設定 AE/AF-LOCK機能選択 測光 기光 ブラッシュモード フラッシュ調光補正	 ✓ バッテリー残量表示 OFF スタンダード OFF OFF OFF AE/AF-LOCK押下中のみ AE LOCKのみ マルチ ON OFF OFF シーム ブーチ シーム シーム マーム シーム シーム

工場出荷時の設定値ー撮影メニュー

動画設定			
	動画モード	1920×1080 60 fps	
	動画感度	Αυτο	
	マイクレベル設定	3	
	マイク/リモートレリーズ設定	マイク	

■ オートフォーカス設定

オートフォーカスに関する設定を変更できます。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが S または C のときは、AFモード で エリア選択 を選択しているときに、ピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが M のときは、ワンプッシュAFでピントを合わせる位置やコマンドダイヤルの中央を押して拡大表示する位置を変更できます。

マクロ

マクロモード(近距離撮影)を設定できます。

レリーズ優先/フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが S のときと、C のときのそれぞれを個別に設定できます。

- **レリーズ** ピントが合っていなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したい ときに設定します。
- **フォーカス** ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

ワンプッシュAF時の動作

フォーカスモードが M のときの AEL/AFL ボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

- AF-S ボタンを押すとピントを合せます。
- AF-C ボタンを押している間、ピントを合わせ続けます。

AFモード

フォーカスモードがSまたはCのときのAFエリア選択の方法を設定します。

- オートエリア シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピント を合わせます。
 - **「「」エリア選択** ピントを合わせるエリアを手動で選択します。

顔キレイナビ

ON にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示 されます。

✔ 縦位置撮影時も顔を検出できます。

- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

プリAF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときもAFサーチを実行します。

♀ ON にすると、常にAFサーチを行うので、AFにかかる時間の短縮効果が見込めますが、バッテリーの消耗が早くなります。

AF補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助 光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

✔ マナーモードでは、AF補助光は発光しません。

シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。

- ♀ マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- Ⅰ 人の目に近づけて発光させないでください。

AFフレーム補正

ON にすると、OVF時に近接撮影用(撮影距離約50cm)のAFフレームが追加されます。シャッターボタン を半押しすると、ピント位置に応じた位置にAFフレーム(緑色)が表示されます。



■■ ≧160 = 2.0 = 1.1.1.1 2800

ISO 感度

撮影感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感 度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

 AUTO1/AUTO2/AUTO3 被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
 6400 ~ 200 設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
 H (51200)/H (25600)/ 拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭く H (12800)/L (100) なったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

✓ L (100) のときに、画質モードを RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW に設定すると、感度 は自動的に 200 になります。

✓ H (51200)、H (25600)、H (12800)のときに、画質モードを RAW、FINE+RAW、 NORMAL+RAW に設定すると、感度は自動的に 6400 になります。

AUTOについて

低速シャッター限界

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ以下の項目が設定できます。

設定	工場出荷時の設定値
基準ISO感度	200
上限ISO感度	AUTO1 : 800 AUTO2 : 1600 AUTO3 : 3200

基準ISO感度 と 上限ISO感度 を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的にISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界 では、ISO感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低 速側の限界値を設定できます。

1/60

- ✓ 上限ISO感度 よりも 基準ISO感度 を高く設定している場合は、上限ISO感度 で設定されている ISO感度で撮影されます。
- ✓ 基準ISO感度 と 上限ISO感度 の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界 で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

▲ 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定	用途例	
3:2		
16:9	A3、四切(254mm × 305mm)、四切Wサイズ程度で印刷する場合に適しています。	
1:1		
M 3:2		
M 16:9	六切(203mm×255mm)、A4サイズ程度で印刷する場合に適しています。	
M 1:1		
§ 3:2		
§ 16:9	DSC(89mm×119mm)、L(89mm×127mm)、A6サイズ程度で印刷する場合に適し ています。	
§ 1:1		

✔ 画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

■ 画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

FINE 圧縮率が低いため画質を優先するモードです。

- NORMAL 圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
- FINE+RAW FINEで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。
- NORMAL+RAW NORMALで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。
 - RAW RAWファイルのみを保存します。

▶ ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体(光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など)、白い被写体(建物、動物、白い服でのポートレート撮影など)などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
Αυτο	100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
(自動調整)	^	
	R200 20070	◆
8400 400%		コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

● ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。

ダイナミックレンジが AUTO のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタース ピードが表示されます。

✓ 200% は感度が400 以上、400% は感度が800 以上のときに設定できます。

证 フィルム シミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

- - ★ (Velvia/ビビッド) 高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 - **(ASTIA/ソフト)** 肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになりま す。屋外のポートレートに適しています。
 - **(アノフラシッククローム)** 発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に 適しています。
 - (PRO Neg. Hi) (PRO Neg. Std) に比べて階調をやや硬めにしています。屋 外でのポートレートに適しています。
 - PRO Neg. Std)
 全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつ
 ながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードで
 す。
- - **(モノクロ + Rフィルター)** 被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃く なります。
- **in (モノクロ + Gフィルター)** 唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
 - **(セピア)** ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。
🖭 フィルムシミュレーションBKT

フィルムシミュレーションBKT で撮影する3枚の画像のフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ変更できます。

🔟 NDフィルター

ON にすると、カメラに内蔵されたNDフィルターが使用され、光量を3段分減らすことができます。明るい場所でもシャッタースピードを遅くしたり、絞りを開いたりできるようになります。スローシャッターでは動きのある写真が、絞りを開いた設定では背景ボケを活かした写真が撮影できます。

Color カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは **濃い** に、薄くしたいときは **薄い** に設定します。

547 シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは **ハード** に、ソフトにしたい ときは **ソフト** に設定します。

品 ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは **ハード** に、軟らかくしたいときは **ソフト** に設定します。

🔜 シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは **ハード** に、軟らかくしたいときは **ソフト** に設定します。

₩ ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは **強** に、画像の輪郭を残したいときは **弱** に設定します。

■ 長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

WBホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1. 撮影メニューから ホワイトバランス を選びます。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

朩	ワイトバラ	シス		
•		AUTO	AUTO 🕨	
		R: 0 B: 0		
•	完了	OK 調整	÷ گ	

- 2. 🛦 または 👿 でホワイトバランスを選びます。
 - AUTO(オート) カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
 - し、(カスタム) 白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します。
 - **(色温度設定)** 色温度を設定します。
 - (晴れ) 晴天の屋外での撮影用です。
 - 養 (日陰) 曇天や日陰などでの撮影用です。

 - 送(蛍光灯2) 昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 - **送(蛍光灯3)** 白色蛍光灯の下での撮影用です。
 - **人**(電球) 電球、白熱灯の下での撮影用です。
 - **(水中)** 水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

3. MENU/OK ボタンを押します。

WBシフト画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を 調整します。



✓ DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

4. MENU/OK ボタンを押します。

ホワイトバランスが設定されます。

✓ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、AUTOの設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。

✓ 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- ✓ 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。
- 1. ホワイトバランスの設定画面から カスタム を選びます。
- 2. 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

✓ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

- 3. シャッターボタンを全押しして設定します。
 - ✓ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに DISP/BACK ボタンを押します。
- 4. 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。

カスタムホワイトバランスが設定されます。

● 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。「OVER」と表示されたときは−(マイナス)側に、「UNDER」と表示されたときは+(プラス)側に露出補正してから、再度測定してください。

色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

- ✓ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる 画像を意図的に撮影できます。
- 1. ホワイトバランスの設定画面から 色温度設定 を選びます。

色温度の一覧が表示されます。

2. ▲ または ▼ で色温度を選び、MENU/OK を押します。

WBシフト画面が表示されます。

✓ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に DISP/BACK を押してください。

3. ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

4. MENU/OK ボタンを押します。

色温度が設定されます。

🍆 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度(単位:K [ケルビン])で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



🖸 カスタム選択

カスタム登録/編集 で保存した設定を呼び出せます。

関連項目

● カスタム登録/編集(撮影メニュー):155ページ

■ カスタム登録/編集

撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。

- 1. 撮影メニューから カスタム登録/編集 を選びます。
- 2. 設定を保存したい場所を カスタム1~7 から選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 3. カスタムに保存できる項目は次のとおりです。個別に設定を変更することが可能です。
 - 感度
 - ダイナミックレンジ
 - フィルムシミュレーション
 - ホワイトバランス
 - カラー

- シャープネス
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- ノイズリダクション



✓ 現在の設定を反映 を選択して MENU/OK ボタンを押すと、現在の設定が カスタム1~7 に 上書きされます。 **4. DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行 を選んで MENU/OK ボタンを押す と、設定が保存されます。



✔ 保存した設定は、撮影メニューの カスタム選択 で呼び出せます。

関連項目

● カスタム選択(撮影メニュー):154ページ

m ファンクション(Fn)設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

- 1. 撮影メニューから ファンクション (Fn) 設定 を選びます。
- 2. ▲▼ で設定を変更するファンクションボタン(Fn1 ~ Fn7)を選び、MENU/OK ボタンを押します。

ボタンの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- アドバンストフィルター
- 多重露出
- マクロ
- 被写界深度確認
- 感度
- セルフタイマー
- 画像サイズ
- 画質モード
- ダイナミックレンジ
- フィルムシミュレーション
- ホワイトバランス
- NDフィルター
- 測光
- AFモード

■ フォーカスエリア選択

- AFフレーム補正
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- カスタム選択
- 動画
- 顔キレイナビ
- モニター撮影効果反映
- ハイパフォーマンス
- RAW
- ワイヤレス通信
- コンバージョンレンズ
- シャッター方式

なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

3.割り当てる機能を選び、MENU/OK ボタンを押します。

ファンクションボタンに機能が割り当てられます。

関連項目

● 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ

◎ 画面のカスタマイズ

OVFまたはEVF/LCD時に、ファインダーまたは液晶モニターに表示する情報を設定します。

- 1. スタンダードの画面になるまで DISP/BACK ボタンを押します。
- 2. 撮影メニューから 画面のカスタマイズ を選びます。
- **3. OVF** または EVF/LCD のいずれかを選び、MENU/OK ボタンを押します。
- **4.** 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 ▼ が表示されます。 ▼ が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押 すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF時の距離指標
- MF時の距離指標
- ヒストグラム
- 絞り/シャッター速度/ISO
- 露出補正バー
- 測光

- フラッシュ
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ&画質モード
- 動画モード&録画時間
- バッテリー残量表示
- **5.** 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。 設定が保存されます。
- **6.** もう一度 **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影画面に戻りますので、表示内容を確認してください。

🖪 コンバージョンレンズ

使用する別売のコンバージョンレンズに合わせて設定を変更します。

- **ワイド** 別売のWCL-X100を装着時に選びます。
 - テレ 別売のTCL-X100を装着時に選びます。
 - OFF コンバージョンレンズを非装着時に選びます。

コンバージョンレンズの取り付け方

1. フロントリングをはずします。



フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりつかんで回してください。



2. コンバージョンレンズを取り付けます。



はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。

コンバージョンレンズの使い方

別売の専用ワイドコンバージョンレンズ WCL-X100 またはテレコンバージョンレンズ TCL-X100 を使用 するときは、コンバージョンレンズ を ワイド または テレ に設定してください。コンバージョンレンズ を ワイド または テレ に設定すると、画面にアイコンが表示されます。



● ワイド時

OVFではブライトフレームの表示範囲を超えるため、フレームは消失し、次のように表示されます。 が示す範囲のファインダー視野率は約80%です。より正確なフレーミングが必要な場合には、 EVFまたはLCDでの撮影をおすすめします。



• テレ時

フレーム枠は、次のように表示されます。



✓ 内蔵フラッシュを使用して撮影すると、画像の一部が暗くなることがあります。専用外部フラッシュのご使用をおすすめします。

MFアシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します。

- **スタンダード** 通常表示です(デジタルスプリットイメージ/フォーカスピーキング機能 を使用しません)。
- **デジタルスプリットイメージ** 白黒のスプリットイメージを表示します。
 - **フォーカスピーキング** コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキン グレベルの組み合わせを選べます。

関連項目

● M (マニュアルフォーカス) で撮影したい (いろいろな撮影): 111ページ

🔊 アドバンストフィルター

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

- **ハトイカメラ**レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
- (A) ミニチュア ジオラマ風に上下をぼかします。
- パップカラー コントラストと彩度を強調します。
 - ① ハイキー 全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
 - **ローキー** 全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
- **ダイナミックトーン** ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 - A ソフトフォーカス 全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
- この、パートカラー(レッド) 赤色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- パートカラー(オレンジ) オレンジ色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A) パートカラー(イエロー) 黄色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- パートカラー(グリーン) 緑色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
 - (A) パートカラー(ブルー) 青色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
- (A. パートカラー(パープル) 紫色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。

OFF アドバンストフィルターを使用しません。

- ✓ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。
- アドバンストフィルターを使用すると、セットアップメニューの表示設定 > 撮影画像表示は、
 0.5秒 に固定されます。

▶ インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

1. 撮影メニューから インターバルタイマー撮影 を選びます。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



2. ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。 開始時間設定画面が表示されます。



3. ▲▼ ◀ ▶ で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。

パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- ✔ 三脚のご使用をおすすめします。
- ✔ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- ✔ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ✔ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

🕲 セルフタイマー

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラ が動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。

- 改 シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影されます。
- 😘 シャッターボタンを全押ししてから10秒後に撮影されます。
- OFF セルフタイマーを使用しません。

✓ いい(10秒後撮影)では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
 (2秒後撮影)では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

AE/AF LOCK設定

AEL/AFL ボタンを押したときの動作を設定します。

AE/AF-LOCK 押下中のみ ボタンを押している間、AE/AFが固定されます。

押下切替 ボタンを押すとAE/AFが固定され、もう一度押すと解除されます。

☎ AE/AF-LOCK機能選択

AEL/AFL ボタンを押したとき、露出(AE)とピント(AF)のどちらを固定するかを設定します。

AE LOCKのみ ボタンを押したとき、露出(AE)のみを固定します。

AF LOCKのみ ボタンを押したとき、ピント(AF)のみを固定します。

AE+AF LOCK ボタンを押したとき、露出(AE)とピント(AF)の両方を固定します。

🖸 測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ(露出)にならな いときに使用します。

- (マルチ) 被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さま ざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、
 (マルチ)を おすすめします。
- (スポット) 画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景 の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 - オートフォーカス設定 > AFモード が エリア選択 で 測光&フォーカ スエリア連動 が ON のときは、フォーカスエリアの位置に連動して測 光します。測光&フォーカスエリア連動 が OFF のときは画面中央部 で測光します。
- [] (アベレージ) 画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長 があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

🖫 測光&フォーカスエリア連動

ON にすると、測光 が スポット で オートフォーカス設定 > AFモード が エリア選択 のときにフォーカス フレームの位置に連動して測光します。

関連項目

- 測光(撮影メニュー):169ページ
- オートフォーカス設定(撮影メニュー):133ページ

◎ 赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、自動的に「赤目現象」を軽減します。

▲ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。▲ RAWファイルの画像は、赤目補正できません。



ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

日 フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます。

各撮影モードで使用できるフラッシュモードは「各撮影モードで使用できる機能について」 (279~281ページ)でご確認ください。

- **AUTO(オート)** ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが 発光します。
 - **全(強制発光)** 周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗く なっているときなどに使います。
- (スローシンクロ) 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 - 【(コマンダー) スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。
- **ド(外部フラッシュ)** 富士フイルム製以外の外部フラッシュを使用するときに設定します。
 - (発光禁止) フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
- ✓ 電子シャッター使用時は、フラッシュモードが発光禁止に固定されます。
- 🖍 フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に 🛃 が表示されます。
- 「フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します(コマンダーモードを除く)。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ✔ フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は1/2000秒以下です。
- ✔ このカメラでは、富士フイルム製のクリップオンフラッシュが使用できます。

🍢 赤目軽減について

顔キレイナビと赤目補正をそれぞれ ON にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 ♀ (赤目軽減オートフラッシュ)、 ●◆ (赤目軽減+強制発光フラッシュ)、 ●◆ (赤目又ロー)から設定できます。

①
 ホ目軽減オートフラッシュ)は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
 ○
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □
 □

関連項目	
● 各撮影モードで使用できる機能について(付録):279~281ページ	

🔁 フラッシュ調光補正

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

✔ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

🏧 シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できま す。

メカニカルシャッター メカニカルシャッターで撮影します。

電子シャッター 電子シャッターで撮影します。

メカニカル+電子 カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。

✓ 電子シャッター または メカニカル+電子 に設定すると、シャッタースピードダイヤルを4000にしたあとにコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。

▲ 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- 感度は6400~200、シャッタースピードは1/32000~1秒に制限されます。
- ぐるっとパノラマ撮影時は、メカニカルシャッターになります。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- 連写撮影では、ピントや露出は1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- フラッシュ設定は発光禁止に固定されます。

● 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。

- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
- シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任でお使いください。

🖼 動画設定

動画撮影に関する設定を行います。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定	説明
1920 × 1080 (60fps)	フレームレートが60fps のフルハイビジョン動画
1920 × 1080 (50fps)	フレームレートが50fps のフルハイビジョン動画
1920 × 1080 (30fps)	フレームレートが30fps のフルハイビジョン動画
1920 × 1080 (25fps)	フレームレートが25fps のフルハイビジョン動画
1920 × 1080 (24fps)	フレームレートが24fps のフルハイビジョン動画
HD 1280 × 720 (60fps)	フレームレートが60fps のハイビジョン動画
HD 1280 × 720 (50fps)	フレームレートが50fps のハイビジョン動画
HD 1280 × 720 (30fps)	フレームレートが30fps のハイビジョン動画
HD 1280 × 720 (25fps)	フレームレートが25fps のハイビジョン動画
HD 1280 × 720 (24fps)	フレームレートが24fps のハイビジョン動画

動画感度

撮影する動画の感度を変更できます。

✓ 設定した感度は静止画撮影には反映されません。
マイクレベル設定

マイクレベルを変更できます。

マイク/リモートレリーズ設定

マイク/リモートレリーズ端子に接続されたときの設定を変更できます。

중 ワイヤレス通信

無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

関連項目

● 無線LAN機能を使用する(通信と外部接続): 233ページ

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

再生メニューの使い方

- ボタンを押します。

 再生モードに切り換わります。
- 2. MENU/OK ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。



- 3. ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。
- 4. ▶ で設定の変更に移ります。
- 5. ▲ または ▼ で設定を変更します。
- 6. MENU/OK ボタンを押して、決定します。
- 7. DISP/BACK ボタンを押して、再生画面に戻ります。

RAW RAW現像

撮影したRAWファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えてJPEGファイルとして保存(現像)できます。

- 1. 再生画面でRAW画像を選びます。
- 2. 再生メニューから RAW現像 を選びます。
- 3. MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4. ▲ ▼ で変更する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

- 撮影時条件を反映 撮影時の条件を一括で反映します。
 - 増感/減感 画像の明るさを調整できます。
- **ダイナミックレンジ** 画像のダイナミックレンジを変更できます。
- フィルムシミュレーション 画像の発色や階調を変更できます。
 - **ホワイトバランス**ホワイトバランスを変更できます。
 - WBシフト ホワイトバランスを調整します。
 - カラー 画像の色の濃さを変更できます。
 - シャープネス 画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
 - **ハイライトトーン** 画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。
 - シャドウトーン 画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。
 - **ノイズリダクション** 高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。

色空間 画像に適用する色空間を設定します。

✔ 撮影時の設定によっては、選択できない設定があります。

✓ RAW画像の再生時に Q ボタンを押すと、RAW現像画面を表示できます。

5. ▲▼ **●** で設定を変更し、MENU/OK ボタンを押します。

手順3の画面に戻ります。手順5までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

6. Q ボタンを押します。

保存するJPEGファイルのプレビューが表示されます。

7. MENU/OK ボタンを押します。

JPEG画像が保存されます。

1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1. 再生メニューの 消去 から 1コマ を選びます。
- 2. 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。
- ✓ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- ✓ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または
 ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

複数指定消去

▼ が表示されている画像をまとめて消去できます。



✔ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 💵 が表示されます。

- 1. 再生メニューの 消去 から 複数指定 を選びます。
- 2. 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は 🔽 が表示されます。
 - もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
- まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。
 消去実行画面が表示されます。
- 4. 実行 を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

- **1.** 再生メニューの 消去 から 全コマ を選びます。
- 2. 実行 を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
- ✓ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- ✓ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

🖸 トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング(切り抜く)できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1. 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2. 再生メニューから トリミング を選びます。
- 3. コマンドダイヤルと▲▼◀▶ で切り抜きたい部分を調整します。
- 4. MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5. MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。

✔ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。

- ✔ トリミングを行ったあとの記録画素数が 🚺 のときは、実行 が黄色で表示されます。
- ✔ トリミングした画像の縦横比は、3:2になります。

P 顔キレイナビで撮影した画像について

顔キレイナビで撮影した画像(「♀」が表示された画像)を選んで、▼ ボタンを押すと、ピントの合っ た顔の部分が拡大表示されます。主被写体を切り抜きたいときに便利です。



🔚 リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1. 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2. 再生メニューから リサイズ を選びます。
- 3. 変更するサイズを選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 4. MENU/OK ボタンを押して、リサイズします

✔ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

🖬 プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

- 1. 再生メニューからプロテクトを選びます。
- 2. プロテクトの方法を選びます。
 - **設定/解除** プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる 画像はプロテクト設定が解除されます。

✔ 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定/解除する画像を選べます。

全コマ設定 すべての画像がプロテクトされます。

- **全コマ解除** すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- **3. MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定/解除します。
- 4. DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

● メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

♀ 画像回転

画像を回転できます。

- 1. 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2. 再生メニューから 画像回転 を選びます。
- 3. セレクターボタンの ▼ (時計回りに90°回転) または ▲ (反時計回りに90°回転) で画像を回転します。
- **4. MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

✔ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。

- ✓ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- ✓ セットアップメニューの表示設定 > 縦横自動回転再生 を ON にすると、縦方向で撮影した画像を 自動的に回転して再生します。

◎ 赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

- 1. 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
- 2. 再生メニューから 赤目補正 を選びます。
- 3. MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。
- ✔ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ✔ 赤目補正済みの(画 が表示されている) 画像は、それ以上赤目補正できません。
- ✔ 他のカメラで撮影した画像やRAWファイルの画像は、赤目補正できません。

尼 スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。MENU/OK ボタンでスライドショーを開始/終了します。スライド ショーの再生中に DISP/BACK ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスが表示されます。マル チ以外では、 ◀ または ▶ でコマ送り再生できます。

ノーマル (型/ノーマル 1コマずつ再生

フェード (型/フェード 1コマずつフェードアウトしながら再生

マルチ 複数コマを一度に再生

は、検出した顔を拡大表示して再生します。
 スライドショー中は、自動電源OFFになりません。

🛄 フォトブックアシスト

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1. 再生メニューから フォトブックアシスト を選びます。

2. 新規BOOK を選び、MENU/OK を押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3. フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。

全画像から選択 保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。

サーチして選択 指定した条件で検索した画像から選択できます。

🖍 🌆 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

- 4. 画像を選択します。
 - ▲ で、表示されている画像を選択または選択解除します。
 - ▼ で、表示されている画像を表紙にします。
 - ✓ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更 することもできます。
- 5. 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

6. 作成終了 を選びます。

✓ 全て選択 を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7. MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。



● プリントサービス (http://fujifilm.jp/personal/print/index.html)

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。 ◀ または ▶ で次や 前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集/削除する

- **1.** 作成したフォトブックを表示しているときに MENU/OK を押します。
- 2. 編集または削除を選びます。
 - **編集** フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除** 表示されているフォトブックを削除できます。
- 3. 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集/削除します。

🚳 アップロード先設定

画像や動画を選んでYouTubeやFacebook、mixiへのアップロード先を設定できます。

- 1. 再生メニューから アップロード先設定 を選びます。
- 2. アップロード先を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3. 🚽 または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。
 - アップロード予約されていない画像を選んで MENU/OK を押すと、予約を設定します。
 - アップロード予約されている画像を選んで MENU/OK を押すと、予約を解除します。
- 4. 手順3を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。 設定を終了するには、DISP/BACK を押します。
- ✓ 全コマ解除 を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、DISP/BACK を押してください。
- ✓ アップロード予約されたファイルは、再生時に YouTube、Facebook、mixi と表示されます。
- ✓ アップロード先がYouTubeの場合、動画のみアップロードできます。
- ✓ アップロード先がmixiの場合、静止画のみアップロードできます。



関連項目

◆ MyFinePix Studio(ビューアーソフト)(付録/リンク): 271ページ

🐼 ピクチャーサーチ

ピクチャーサーチで画像を検索できます。

- 1. 再生メニューから ピクチャーサーチ を選びます。
- 2. 検索条件を選びます。
 - 日付で検索 指定した撮影日の画像を表示します。
 - 顔で検索 指定した顔の情報の画像を表示します。
 - お気に入りで検索 指定したお気に入りランクの画像を表示します。
 - 画像タイプで検索 静止画/動画/RAWのタイプ別に表示します。
 - アップロード先で検索 アップロード先を選んで画像を表示します。
- 3. MENU/OK ボタンを押します。
- 4. 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

- ✓ サーチ画面を表示した状態で MENU/OK ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。
 - 消去
 - プロテクト
 - スライドショー

⅏ 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

1. 再生メニューから 画像コピー を選びます。

2. コピーの方法を選びます。

👔 カメラ 🛶 🛐 カード 内蔵メモリーからメモリーカードにコピー

🕥 カード → 👔 カメラ メモリーカードから内蔵メモリーにコピー

- 3. MENU/OK ボタンを押します。
- **4.1コマ**または **全コマ**を選びます。
 - 1コマ 表示中の画像をコピー
 - **全コマ** すべての画像をコピー

▲ 1コマ を選んだときは、手順5のあとに < または > で、続けてコピーする画像を選べます。

5. MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。

● コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

プリント予約(DPOF)していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

🖪 プリント予約(DPOF)

あらかじめDPOF指定(プリント予約)しておくと、カメラをPictBridge対応プリンターに直接つないでプリントしたり、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

⋗ DPOF指定

DPOF(ディーポフ)とは、Digital Print Order Format(デジタルプリントオーダーフォーマット) のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無など の指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。



日付あり設定/日付なし設定

 再生メニューの プリント予約(DPOF) から 日付あり設定 または 日付なし設定 を選び、 MENU/OK ボタンを押します。



日付あり設定 撮影日を印字します。

日付なし設定 撮影日を印字しません。

- **2.** ◀ または ▶ で、DPOF指定する画像を選びます。
- 3. ▲ または ▼ で、プリント枚数を選びます(最大99枚)。



4. プリントしたいすべての画像に対して手順2と3を行います。

設定した内容を保存して終了するには、MENU/OK ボタンを、設定を変更せずに終了するには、 DISP/BACK ボタンを押します。

5. 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

DPOF指定(プリント予約)した画像には、再生時に 🚨 が表示されます。

✓ 同じメモリーカードで最大999枚までDPOF指定することができます。

✓ 別のカメラでDPOF指定された画像がメモリーカードに入っているときは、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押して、すでに設定されているDPOF指定を取り消し、DPOF指定し直してください。

■ プリント予約リセット OK?			
OK 設定 BACK やめる			

✓ 日付あり/日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

全コマ解除

現在設定されているDPOF指定(プリント予約)を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、MENU/OK ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、DPOF指定がすべて解除されます。

▶ プリント予約全解除 OK?	
OK 実行 BACK やめる	

🔄 instaxプリンタープリント

別売のFUJIFILM instax SHAREで画像を印刷できます。詳しくは、FUJIFILM instax SHAREの取扱説明書 をご覧ください。

関連項目

● 画像をプリントする(instax SHAREプリンターでデジタルカメラの画像をプリントする): 200ページ

FUJ¦FILM instdx SHARE プリンターでデジタルカメラの画像をプリントする

しプリンターとの接続を設定する

カメラのセットアップメニューから 🔄 instax プリンター接続設定を選び、instax SHARE プリンターの プリンター名(SSID)とパスワードを入力します。

▶ プリンター名 (SSID) とパスワード instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。 工場出荷時のパスワードは「1111」です。既にスマートフォ ンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設 定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



|画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。



2 カメラの再生メニューからい instax プリン タープリントを選ぶと、カメラとプリンターの 接続が開始されます。



◆連写コマをプリントするには、プリントするコマ を表示してからメニューを実行します。 3 カメラのセレクターボタンでプリントしたい画像を選び、MENU/OKボタンを押します。



- ◆他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
 ▶ 一次の目々は、プリントできません。
- ●画像サイズが4:3以外の場合は、プリントされる範囲が狭くなります。
- ④ 画像がプリンターに送信され、プリントが開始 されます。







3:2で撮影された静止画をHD出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMIケーブルでカメラ とHD出力テレビを接続したときに有効です。



✓ 16:9に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。3:2に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

🛜 ワイヤレス通信

無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

🔄 PC保存

無線LANを使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

セットアップメニューの使い方

1. MENU/OK ボタンを押します。

メニューが表示されます。

2.
 でタブ選択に移ります。



3. ▼ でセットアップタブに移ります。



4.

でセットアップタブ画面を表示します。

5. ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



6.
で設定の変更に移ります。



- 7. ▲ または ▼ で設定を変更します。
- 8. MENU/OK ボタンを押して、決定します。
- 9. DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

工場出荷時の設定値-セットアップメニュー

セットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

✓ セットアップメニューの リセット > セットアップリセット を実行すると、工場出荷時の設定に戻せます。

マナーモード		OFF
コマNo.		連番
フォーカスリング		時計回り
フォーカスチェック		OFF
音設定		
	操作音量	•€ •)
	シャッター音量	u ∎+)
	シャッター音	サウンド1
	再生音量	7
表示設定		
	撮影画像表示	OFF
	EVF縱橫自動回転表示	ON
	マニュアル時モニター露出反映	ON
	モニター晴天モード	OFF
	EVF明るさ	Αυτο
	EVF鮮やかさ	0
	LCD明るさ	0
	LCD鮮やかさ	0
	モニター撮影効果反映	ON
	フレーミングガイド	方眼9分割
	縱橫自動回転再生	ON

工場出荷時の設定値ーセットアップメニュー

	距離指標の単位	メートル	
セレクターボタン設定		Fnボタン	
クイ	イックメニュー登録/編集		
	Q1	カスタム選択	
	Q2	感度	
	Q3	ダイナミックレンジ	
	Q4	ホワイトバランス	
	Q5	ノイズリダクション	
	Q6	画像サイズ	
	Q7	画質モード	
	Q8	フィルム シミュレーション	
	Q9	ハイライトトーン	
	Q10	シャドウトーン	
	Q11	カラー	
	Q12	シャープネス	
	Q13	セルフタイマー	
	Q14	AFモード	
	Q15	フラッシュモード	
	Q16	EVF/LCD明るさ	
消費	建電力設定		
	自動電源OFF	2分	
	OVF撮影枚数UP	OFF	
	ハイパフォーマンス	OFF	
ファイル名編集			
	sRGB	DSCF	
	AdobeRGB	DSF	
ワイヤレス設定			
	スマートフォン送信時 🚮 圧縮	ON	

工場出荷時の設定値ーセットアップメニュー

位置情報設定			
	位置情報記録	ON	
	位置情報表示	ON	
色空間		sRGB	

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1. セットアップメニューから 日時設定 を選びます。
- 2. ▲▼ で年月日の並び順を設定します。



3. 年、月、日、時、分を設定します。

▲● で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

④ 日時設定			
年. 月. 日	2016 2015 2014 2013 2002	1. 1	12 : 00 AM
ОК決定	BACK t	める	

4. MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定されます。

🕤 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

- ホーム 日時設定で設定した地域の日時を表示
 - 現地 旅行先の日時を表示

🜗 現地時間の設定

- 1. 現地 を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 2. 時差を設定します。
 - ▲● で設定する項目(+/-、時間、分)を選び、▲▼ で設定を変更します。

✔ 現地 を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に 🛖 と日時が約3秒間黄色で表示されます。



画面に表示する言語を設定します。

🖪 リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- **1.** セットアップメニューから **リセット** を選びます。
- 2. リセットするメニュー(撮影メニューリセット または セットアップリセット)を選び ▶ を押す と、確認画面が表示されます。
- 3. 実行 を選んで MENU/OK ボタンを押します。
- ✓ 撮影メニューリセットでは、カスタム登録/編集の内容、ホワイトバランス の カスタム の内容、ワ イヤレス通信の内容以外がリセットされます。
- セットアップリセットでは、日時設定、世界時計、シャッター回数、ワイヤレス設定の共通設定 と PC保存設定 以外がリセットされます。

1911 マナーモード

ON にすると、フラッシュやAF補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフ タイマーランプも発光しません。


囫 コマNO.

コマNO.(フォルダNO.-ファイルNO.)の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマNO. の付け方を選びます。



- コマNO.
- 2 フォルダNO.
- ③ファイルNO.
 - 連番 メモリーカード内の最大ファイルNO.に1を足したファイルNO.が付けられます。メモリー カードを交換したときは、次のファイルNO.とメモリーカード内の最大ファイルNO.のいず れか大きいほうの番号を付けます。

✔ ファイル名の重複を防げます。

新規 新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイルNO.が0001から付けられます。

✔ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

- ✓ コマNO.が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- ✓ リセット を行ってもコマNO.はリセットされません。
- ✓ 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なることがあります。

🖸 フォーカスリング

マニュアルフォーカス(MF)時のフォーカスリングの回転方向を変更できます。

💵 フォーカスチェック

マニュアルフォーカスでフォーカスリングを回したとき、画面全体を拡大表示してピントを合わせやすくします。

▶ 音設定

音に関する設定を変更できます。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。音を消したいときは、 ��OFF を選びます。

シャッター音量

シャッターをきるときの音量を設定します。音を消したいときは、 **■OFF**を選びます。

シャッター音

シャッターをきるときの音を設定します。

再生音量

再生時の音量を設定します。

☑ 表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

- 連続 シャッターを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。コマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
- **1.5秒/0.5秒** 撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
 - OFF 表示しません。

✓ 1.5秒、0.5秒のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。

EVF縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラを縦向きにすると、電子ビューファインダー(EVF)の表示が縦向きになります。

❶ 液晶モニター(LCD)の表示は、縦向きにはなりません。

マニュアル時モニター露出反映

ON にすると、マニュアル(M) 撮影で露出を反映した画像が画面に表示されます。

✓ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、OFF にしてください。

モニター晴天モード

ON にすると、晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります。

✓ VIEW MODE ボタンを長押ししてもモニター晴天モードを設定できます。

EVF明るさ

EVF(電子ビューファインダー)の明るさを調整できます。AUTO にすると、カメラが自動的に適切な明る さを調整します。

EVF鮮やかさ

EVF(電子ビューファインダー)の鮮やかさを調整できます。

LCD明るさ

LCD(液晶モニター)の明るさを調整できます。

LCD鮮やかさ

LCD(液晶モニター)の鮮やかさを調整できます。

モニター撮影効果反映

- **ON** フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面 に表示されます。
- OFF 撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすい ようにした画像が画面に表示されます。

✓ OFF では表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、 アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

方眼9分割



縦横にガイド線が表示されます(9コマ)。

方眼24分割



縦横にガイド線が表示されます(24コマ)。





画面が16:9になるようなガイド線が表示され、HD画像の構図が決めやすくなります。

| 縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

● セレクターボタン設定

セレクターボタン(▲▼◀▶)の機能を変更できます。

Fnボタン セレクターボタンは、ファンクションボタンとして機能します。

フォーカスエリア フォーカスエリアの位置を直接変更できます。

Q クイックメニュー登録/編集

クイックメニューに表示する機能を変更できます。

- 1. セットアップメニューから クイックメニュー登録/編集 を選びます。
- **2.** 設定を変更するクイックメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。
 - メニューの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられるメニューは次のとおりです。
 - カスタム選択
 - 感度
 - ダイナミックレンジ
 - ホワイトバランス
 - ノイズリダクション
 - 画像サイズ
 - 画質モード
 - フィルムシミュレーション
 - ハイライトトーン
 - シャドウトーン
 - カラー
 - シャープネス
 - セルフタイマー
 - 顔キレイナビ
 - 測光

- AFモード
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- MFアシスト
- 動画モード
- 動画感度
- マイクレベル設定
- マナーモード
- EVF/LCD明るさ
- EVF/LCD鮮やかさ
- アドバンストフィルター
- コンバージョンレンズ
- シャッター方式
- NDフィルター
- ✓ なし を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- ✓ カスタム選択 を選ぶと、クイックメニューには BASE と表示され、現在の設定を表しています。
- 3. 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

1 消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

自動電源OFF

自動的に電源をオフにできます。

5分/2分 指定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。

OFF 自動的に電源がオフになりません。

♪ 設定によっては、自動電源OFFの設定が無効になる場合があります。

OVF撮影枚数UP

ON にすると、節電機能が働き、OVF撮影時に撮影できる枚数が増えます。

✔ EVF/ERF使用時は撮影できる枚数は増えません。

ハイパフォーマンス

ON にすると、ピント合わせと、カメラの再起動時の立ち上げ速度が速くなります。

📾 シャッター回数

シャッターを切ったおおよその回数を確認できます。。

● シャッター回数はシャッターボタンを押す以外にも、電源ON/OFF、OVF/EVF切り換え、再生モードへ切り換えなどでカウントされます。

🂵 ファイル名編集

ファイル名(DSCF****/_DSF****)をそれぞれ変更できます。sRGBで撮影される画像では「DSCF」の 4文字を、Adobe RGBで撮影される画像では「DSF」の3文字をそれぞれ変更できます。変更するファイル 名を入力してから 決定 を選んで MENU/OK ボタンを押します。

중 ワイヤレス設定

無線LAN機能に関する設定を変更できます。

| 共通設定

名前 無線LAN通信で使用するカメラの名前を変更できます。

✔ 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

設定初期化 無線LAN通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

| スマートフォン送信時 🍘 圧縮

スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。

ON 画像サイズを 🛐 に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。

OFF 元画像のサイズのままで送信します。

✓ ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。

PC保存設定

保存先削除 設定されているPC保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。

前回接続情報 直近に接続したPC保存の保存先の情報が表示されます。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

■ PC保存先設定

PC保存の保存先を設定します。

- 簡単設定 無線LANルーターに簡単接続(WPS)で接続し、保存先(PC)を設定します。
- **手動設定** 無線LANルーターにマニュアル操作で接続し、保存先(PC)を設定します。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

➡ 位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

位置情報記録 スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。

位置情報表示 スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

🕒 instaxプリンター接続設定

別売のFUJIFILM instax SHAREの プリンター名(SSID)とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。詳しくは、FUJIFILM instax SHAREの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

● プリンターとの接続を設定する(instax SHAREプリンターでデジタルカメラの画像をプリントする): 200ページ

🖸 色空間

カラースペースを選択できます。

sRGB 通常の撮影ではsRGBに設定します。

Adobe RGB 商用印刷用途などに適しています。

🖼 フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット(初期化)します。メモリーカードが入っていないとき(👔 が表示されているとき)は、内蔵メモリーをフォーマットします。

1. セットアップメニューから フォーマット を選びます。

2. MENU/OK ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3. ▲ で 実行 を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

- ✓ 確認画面で やめる を選んだ状態で MENU/OK ボタンを押したり、DISP/BACK ボタンを 押したりしたときは、フォーマットは実行されません。
- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

無線LAN機能を使用する

無線LANを使って、カメラとスマートフォンやパソコンと通信が出来ます。無線LAN機能の使用方法とアプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

関連項目

● FUJIFLIM無料アプリケーション(付録/リンク):271ページ

スマートフォンと通信する

カメラの Wi-Fi ボタン(ファンクション7ボタン)を押すと、無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

- ✓ 工場出荷値の設定では、ファンクション7ボタンには、ワイヤレス通信が割り当てられています。 ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✓ 撮影/再生メニューの ワイヤレス通信 からも通信できます。





✔ スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧/取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

✓ これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション 「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

パソコンに画像を保存する

再生モードでカメラの Wi-Fi ボタンを長押しすると、無線LANを使ってカメラからパソコンに画像を保存 できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめPCアプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



✓ 再生メニューの PC保存 からも通信できます。

関連項目

- 機能の割り当てを変更する(Fn(ファンクション)ボタン): 78ページ
- ワイヤレス通信(撮影メニュー):179ページ
- PC保存(再生メニュー):203ページ

カメラをパソコンに接続して画像を転送する

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像をパソコンに転送できます。

- 1.パソコンを起動します。
- 2. カメラの電源をオフにします。
- 3. 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- USBケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。 USBハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 4. カメラの電源をオンにします。
- 5. MyFinePix StudioやOS標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。

MyFinePix Studio (Windowsのみ) /RAW FILE CONVERTER

MyFinePix Studioを使ってもカメラと接続したパソコンに画像を転送できます。また、MyFinePix Studioを使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。RAW画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTERを使用します。

- ・ 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メ モリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や 転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してく ださい。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりしないで ください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン(単独)のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

関連項目

- MyFinePix Studio (ビューアーソフト) (付録/リンク): 271ページ
- RAW FILE CONVERTER(付録/リンク): 271ページ

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリン ターにつないでプリントできます。



プリンターに接続する

1. USBケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。



2. カメラの電源をオンにします。

00 枚

◆ コマ選択

DISP 設定

OK 印刷

液晶モニターにUSB接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。



その場で選んでプリントする

- 1. プリントしたい画像を選びます。
- 2. プリント枚数を指定します。

最大99枚まで設定できます。

- 3. 手順1と2を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。
- 4. MENU/OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



5. もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

プリントが開始されます。

- ✓ プリント枚数を1枚も指定せずに MENU/OK ボタンを押すと、表示中の画像が1枚プリントされます。
- ✔ お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

P 日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順1または2で DISP/BACK ボタンを押します。ピクト ブリッジの設定画面が表示されますので、 ▲ または ▼ を押して、日付ありプリント を選び、 MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、日付なしプリント を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、日付ありプリント が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約(DPOF) であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1. DISP/BACK ボタンを押します。

ピクトブリッジの設定画面が表示されます。

2. 予約プリント を選びます。



3. MENU/OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



4. もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

プリントが開始されます。

ಶ プリントの中止

プリント中に DISP/BACK ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐ に中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってし まったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。



P プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに **プリント中** と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USBケーブルを取り外します。

✓ このカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。

✓ カメラとプリンターをUSBケーブルで直接つないでいるときは、フチあり/フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

関連項目

● プリント予約(DPOF)(再生メニュー):196ページ

プリントサービス店でプリントする(お店プリント)

「お店プリント」とは、プリント予約(DPOF)であらかじめDPOF指定した画像の入ったメモリーカード をフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF指定でプリント」とお伝えいた だくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじ め設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

1. あらかじめ再生メニューのプリント予約(DPOF) でプリントする画像と枚数を設定します。



2. 画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。



3. メモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス店に持ちいただくと、手軽に高画質でプリントできます。



🍢 デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめDPOF指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の 店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機を ご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があり ます。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください(「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

関連項目

- プリントサービス (http://fujifilm.jp/personal/print/index.html)
- 写真をプリントする(http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html)

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショーを大勢で楽しむことができます。

- 1. カメラの電源をオフにします。
- **2.** 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビを接続します。



- カメラのマイクロHDMI端子にHDMIケーブルを接続します。
- アレビのHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続します。
 - 9 USBケーブルとHDMIケーブルは同時に接続できません。
 - ❶ HDMIケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
 - B HDMIケーブルは、長さが1.5 m以内のものをご使用ください。
 - HDMIケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
 - テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 3. テレビの入力をHDMI入力に切り換えます。

テレビの音声/映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4. カメラの電源をオンにし、 下(再生) ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。

✓ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

クリップオンフラッシュ







クリップオンフラッシュ EF-20 クリップオンフラッシュ EF-42

クリップオンフラッシュ EF-X20

- **EF-20** ガイドナンバー20 (ISO100·m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調光機 能を搭載。バウンス角度は上90°です。単三電池2本を使用します。
- EF-42 ガイドナンバー最大42(ISO100·m)のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調 光機能、24~105mm(35mmフィルム換算)のオートズーム機能を搭載。バウンス角度 は上90°、左180°、右120°です。 単三電池4本を使用します。
- EF-X20 ガイドナンバー20 (ISO100·m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTLオートモー ド時に自動で最適な発光量に調整する、FUJIFILM独自のフラッシュ発光制御技術(iフラッ シュ)を搭載。高度な撮影を可能にするスレーブ機能搭載。単4形電池(アルカリ電池/ニッ ケル水素電池)を2本使用します。

電池/バッテリー/充電器関連

充電式バッテリー



充電式バッテリー NP-95

NP-95 リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。

バッテリーチャージャー



バッテリーチャージャー BC-65N

BC-65N 充電式バッテリーNP-95を充電します。充電時間は約4時間(+20℃において)です (AC100V~240V、50/60Hz対応)。

リモートレリーズ



リモートレリーズ RR-90

RR-90 三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

リモートレリーズを使用する

別売のリモートレリーズ RR-90 は、マイクロUSB 端子に取り付けます。



🌗 市販のリモートレリーズを使用する

電子式の市販リモートレリーズ(φ2.5mm)は、マイク/リモートレリーズ端子に取り付けることができます。



✓ マイク/リモートレリーズ端子にリモートレリーズを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。MENU/OK ボタンを押して、マイク/リモートレリーズ設定 を リモートレリーズ に設定してください。

マイク/リモートレリーズの 設定を確認してください OK 決定 BACK スキップ

コンバージョンレンズ

テレコンバージョンレンズ

TCL-X100 X100Tに装着すると、倍率約1.4倍の33mm(35mm判換算50mm相当)で撮影できます。

ワイドコンバージョンレンズ

WCL-X100 X100Tに装着すると、焦点距離よりも広角側で撮影できます。

関連項目

● コンバージョンレンズ(撮影メニュー):159ページ
ステレオマイク



ステレオマイク MIC-ST1

MIC-ST1 動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

関連項目

● 外部マイクについて(動画の撮影と再生/動画を撮影する): 64ページ

その他

アダプターリング

AR-X100 X100T/X100S/X100専用のアルミニウム製のアダプターリングです。専用レンズ フード(LH-X100)のほか、市販のフィルター(φ49 mm)を装着する時に使用しま す。

アダプターリングは以下のように取り付けます。

1. フロントリングをはずします。





2. アダプターリングを取り付けます。

図のように突起部が手前になるようにしてください。



- ・はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。
- ・レンズフード LH-X100やプロテクトフィルター PRF-49S、市販のフィル ターなどを取り付けるときは、必ずアダプターリング AR-X100を先に装着し てください。

レンズフード

LH-X100 X100T/X100S/X100専用のアルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプ ターリング(AR-X100)を同梱しています。

アダプターリングを取り付けてから、レンズフードを取り付けます。



- ✔ 切り欠き部分を合わせて、図のように回します。
- ✓ 専用アダプターリングAR-X100が必要です。

プロテクトフィルター

PRF-49S X100T/100S/X100専用のプロテクトフィルターです。

アダプターリングを取り付けてから、プロテクトフィルターを取り付けます。



✔ 専用アダプターリングAR-X100が必要です。

レザーケース

LC-X100S X100T/X100S/X100専用の本革製ケースです。カメラを装着したままの撮影や、 カードやバッテリーの出し入れが可能です。同革素材のショルダーストラップを同梱 しています。

ハンドグリップ

MHG-X100 ホールド性を高め、グリップを装着したままでバッテリーやメディアの挿抜が可能で す。また、光軸センターに三脚ネジ穴を配置でき、ベースパーツには38mm幅のアリ ガタ形状の突起部を持ち、アリミゾ式の三脚台座を使用する際のクイックシューマウ ントとして使用できます。

グリップベルト

GB-001 本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

トラブルシューティング/FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合 は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	処置	
	✿ バッテリーが消耗していませんか? 充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	
	✿ バッテリーを正しい向きで入れていますか? バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
ON/OFF(電源)レバーをONに合わせ ても電源がオンになりません。	グバッテリーカバーはきちんと閉まっていますか? バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	
	✿ 電源をオフにしたあとすぐに電源をオンにしませんでしたか?	
	✿ 非常に寒いところでカメラを使っていませんか? バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に 取り付けてください。	
バッテリーの減りが早いです。	✿ バッテリーの端子が汚れていませんか? バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	
	✿ 同じバッテリーを長時間使っていませんか? バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリー と交換してください。	
	✿ フォーカスモードを C (コンティニュアスAF) に設定していませんか?	
	C (コンティニュアスAF)で撮影すると、バッテリーの消 耗が早くなります。	
使用中に電源がオフになってしまいま	✿ バッテリー残量が少なくなっていませんか? 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	
した。	✿ 自動電源OFF 機能を設定していませんか? シャッターボタンを長く半押ししてください。	

```
トラブルシューティング/FAQ
```

症状	処置	
充電が開始されません。	 バッテリーは正しい向きで入っていますか? バッテリーを正しい方向で入れ直してください。 プラグは正しくコンセントに接続されていますか? 充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。 	
充電時間がかかりすぎます。	✿ 非常に寒いところで充電を行っていませんか? 低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	
充電中に充電ランプが点滅して充電で きません。	 バッテリーの端子が汚れていませんか? バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。 バッテリーの寿命または故障の可能性があります。 新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。 	

メニューなどの設定時

症状	処置	
メニューが日本語以外で表示されていま	✿ 言語/LANG.が日本語以外の言語になっていませんか?	
す。	言語設定を日本語にしてください。	

撮影時

症状	処置	
	 ▶ 撮影可能枚数が0になっていませんか? 新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 ▶ メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか? 	
	 カメラでフォーマットしてください。 ☆ メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか? 	
シャッターボタンを押しても	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布でふいてください。	
撮影できません。	✿ メモリーカードが壊れている可能性があります。 新しいメモリーカードを入れてください。	
	✿ バッテリー残量が少なくなっていませんか? 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	
	✿ 電源がオフになっていませんか? 電源をオンにしてください。	
撮影後、映像が消えて黒い画 面になりました。	✿ フラッシュ撮影しましたか? フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、 そのままお待ちください。	
シャッターボタンを半押しす ると、EVFやLCDにノイズが 見えます。	✿ 被写体が暗かったり、絞りを絞り込んでいませんか? 設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	
ピントを合わせられません。	✿ 近距離のものを撮影しようとしていませんか? マクロを設定してください。	
	✿ マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか? マクロを解除してください。	
	☆ オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか? AF/AEロックを使って撮影してください。	
シャッターボタンを押しても パノラマ撮影できません。	✿ インジケーターランプが橙色に点灯していませんか? インジケーターランプが消灯するまでお待ちください。	

症状	処置	
顔を検出できません。	✿ サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか? なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	
	✿ 撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか? 顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
	✿ 人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか? 顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
	✿ カメラが傾いていませんか? カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
	✿ 人物の顔が暗くないですか? できるだけ明るい条件で撮影してください。	
ピントを合わせたい顔にピン トが合いません。	✿ 複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか? 合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずにAF/AEロック撮影してください。	
	✿ フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか? フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	
	✿ フラッシュ設定が 発光禁止 になっていませんか? フラッシュ設定を 発光禁止 以外に設定してください。	
	✿ バッテリー残量が少なくなっていませんか? 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	
フラッシュが発光しません。	✿ ドライブ設定がブラケティング撮影または連写になっていませんか? ドライブ設定を 1つフ撮影 に設定してください	
	 	
	✿ シャッター方式を電子シャッターまたはメカニカル/電子に設定していませんか? 電子シャッター使用時はフラッシュ設定が発行禁止に固定されます。	
使いたいフラッシュ設定を選 べません。	✿ マナーモードに設定されていませんか? マナーモードを解除してください。	

```
トラブルシューティング/FAQ
```

症状	処置
フラッシュが発光したのに撮 影した画像が暗い。	✿ 被写体から離れすぎていませんか? フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。
	フラッシュを指などでふさいでいませんか? カメラを正しく構えてください。
	✿ 高速シャッタースピードで撮影していませんか? シャッタースピードが1/2000秒より高速の場合は、フラッシュを発 光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを1/2000秒 以下に設定してください。
画像がぼやけています。	✿ レンズに指紋などの汚れがついていませんか? レンズを清掃してください。
	や レンズに指などがかかっていませんか? レンズに指がかからないようしてください。
	✿ 撮影時にAFフレーム(赤点灯)と!AFが表示されていませんでしたか? しっかりとピントを合わせてから撮影してください。
画像に点状のノイズがありま す。	✿ 気温の高いところでスローシャッター(長時間露光)撮影しませんでしたか? 撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。
画像にノイズが撮影されま す。	 高温環境で連続使用をしていませんか? 温度警告が表示されていませんでしたか? しばらく電源オフにした後でご利用ください。
ファインダーがぼやけて見え ます。	✿ 視度調節が合っていますか? ファインダーがくっきり見えるように視度調節を行ってください。

動画時

症状	処置
カメラの動作音が気になります。	 ◆ フォーカスモードを C に設定していませんか? フォーカスモードを変更してください。 ◆ 顔キレイナビをオンにしていませんか? 顔キレイナビをオフにしてください。

再生時

症状	処置
画像が粗く表示され ます。	✿ 他のカメラで記録した画像ではありませんか? 他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。
拡大表示できませ ん。	 ✿ 他のカメラで記録した画像ではありませんか? 他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。 ✿ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
カメラから音が出ま せん。	 マナーモードに設定されていませんか? マナーモードを解除してください。 カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか? 再生音量を調節してください。 動画撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか? 動画撮影中はマイクをふさがないでください。 再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか? 再生中はスピーカーを示さがないでください。
選択した画像を消去 できません。	プロテクトされていませんか?
全コマ消去したのに 画像が残っていま す。	フロテクトを解除してくたさい。フロテクトを解除するときは、プロテクトを 行ったカメラをお使いください。
コマNO.の連番が機 能しません。	✿ バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカ バーを開けませんでしたか? バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。

接続時

症状	処置
カメラの画面に何も表示されま せん。	✿ カメラとテレビを接続していませんか? カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。
テレビに画像、音声が出ませ ん。	 カメラとテレビが正しく接続できていますか? 確認して正しく接続し直してください。 テレビの入力が「テレビ」になっていませんか? テレビの入力を確認してください。 テレビの音量が小さくなっていませんか? テレビの音量を調節してください。
パソコンがカメラを認識しませ ん。	✿ USBケーブルが正しく接続されていますか? 確認して正しく接続し直してください。
撮影したRAWまたはJPEGなど の画像ファイルがパソコンに取 り込めません。	✿ MyFinePix Studioを使わずに、カメラからパソコンに画像を取り 込もうとしていませんか? MyFinePix Studio (Windowsのみ)を使って、画像を取り込んで ください。
接続したのにプリントできませ ん。	 ✿ USBケーブルが正しく接続されていますか? 確認して正しく接続し直してください。 ✿ プリンターの電源は入っていますか? プリンターの電源を入れてください。
1枚ずつしかプリントされませ ん。	 PictBridge対応のプリンターでプリントしていますか? プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を1枚ず つしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないこ
日時が印字されません。	とがあります。

その他

症状	処置
カメラのボタンなどを操作して も動きません。	 ◆ 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作して ください。 ◆ バッテリーの消耗が原因として考えられます。 新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
カメラが正常に作動しなくなっ てしまいました。	✿ 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作して ください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセン ターに修理をご依頼ください。
音がでません。	✿ マナーモードに設定されていませんか? マナーモードを解除してください。
ハイブリッドビューファイン ダーが正常に作動しなくなって しまいました。	✿ 落下や衝撃などにより、一時的に誤動作を起こしている可能性があります。 電源のON/OFFをし直してください。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
•二 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なく なっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交
4 (赤点滅)	バッテリーの残量がありませ ん。	換してください。
!AF (赤点灯) AFフレームの形は撮影メ ニューの設定によって異なり ます	ピント合わせができません。	 AF/AEロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。 近距離撮影の場合は、マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード 表示(赤点灯)	被写体が明るすぎる、または 暗すぎるために適正な明るさ で撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使っ てください。ただし、適切な明るさ(露 出)ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障し ています。	 電源を入れ直してください。 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていな い状態で再生メニューの 画像 コピー を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてくださ い。
!	カメラの温度が上昇していま す。そのまま撮影すると、自 動的に電源がオフになりま す。	電源を切ってしばらくたってからご使用 ください。
フォーマットされていません	メモリーカード、または内蔵 メモリーがフォーマットされ ていません。	メモリーカード、または内蔵メモリーを
	メモリーカードがパソコンで フォーマットされています。	
	メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔ら かい布などでよくふいてください。ま た、フォーマットが必要な場合がありま す。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。

警告表示	警告内容	処置
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依 頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラで フォーマットされていませ ん。	メモリーカードをカメラでフォーマット してください。
	メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔ら かい布などでよくふいてください。ま た、フォーマットが必要な場合がありま す。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依 頼ください。
	非対応のメモリーカードで す。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿
	メモリーカードが壊れていま す。	入してください。
🛐 空き容量がありません		
空き容量がありません	マモリーカートまたは内蔵メ モリーに空き容量がないた	画像を消去するか、空き容量のあるメモ
メモリーがいっぱいです カードを入れてください	め、画像を記録/コピーでき ません。	リーカートを使用してくたさい。
	メモリーカードとカメラ本体 の接触異常またはメモリー カードの異常のため記録でき ません。	メモリーカードを入れ直すか電源の ON/OFFを繰り返してください。それで も復帰できないときは、弊社修理サービ スセンターに修理をご依頼ください。
記録できませんでした	画像を記録する空き容量があ りません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモ リーカードを使用してください。
	メモリーカード、または内蔵 メモリーがフォーマットされ ていません。	メモリーカード、または内蔵メモリーを カメラでフォーマットしてください。
プロテクトされたカードです	メモリーカードの書き込み禁 止スイッチが「LOCK」側に なっています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチ を元に戻し、誤記録防止のロックを外し てください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットした メモリーカードのため、動画 記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマット してください。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
コマNO.の上限です	コマNO.が「999-9999」に 達しているため、これ以上撮 影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメ ラに入れて、セットアップメニューの コ マNO.を新規に設定します。撮影する と、コマNO.が「100-0001」から付け られます。コマNO.を連番に戻すと、引 き続き撮影できます。
	正常に記録されていないファ イルを再生しようとしまし た。もしくは他のカメラで記 録した静止画または動画を再 生しようとしました。	このファイルは再生できません。
再生できません	メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔ら かい布などでよくふいてください。ま た、フォーマットが必要な場合がありま す。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依 頼ください。
が数例のもっこています	30000枚以上の画像をピク チャーサーチしようとしまし た。	30000枚以上の画像はピクチャーサーチ できません。
松欽利岐をこんていまり	複数指定消去を枚数制限以上 の画像で実行しようとしまし た。	999枚を超える画像では、複数指定消去 は実行できません。
プロテクトされています	プロテクトされているファイ ルを消去しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去/回転で きません。 プロテクトを解除してくださ い。
🛐 画像がありません	 生しようとしました。 メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。 カメラが故障しています。 30000枚以上の画像をピク チャーサーチしようとしました。 複数指定消去を枚数制限以上 の画像で実行しようとしました。 プロテクトされているファイ ルを消去しようとしました。 メモリーカードまたは内蔵メ モリーに画像がないときに、 メモリーカードまたは内蔵メ モリーへ画像をコピーしよう としました。 師の画像をトリミングしよ うとしました。 他のカメラで撮影した画像ま たは壊れた画像をトリミング しようとしました。 い、いいの画像を いこりサイズしようとしま 	コピーする画像がないため、画像をコ
🖍 画像がありません	メモリーカートまたは内蔵メ モリーへ画像をコピーしよう としました。	ピーすることはできません。
640 トリミングできません	640の画像をトリミングしよ うとしました。	
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像ま たは壊れた画像をトリミング しようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
▶実行できません	M、S、640の画像を Mにリサイズしようとしま した。	これらの場合、リサイズはできません。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
8実行できません	S、640 の画像を S にリ サイズしようとしました。	
640実行できません	640の画像をリサイズしよう としました。	
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ 以上のプリント指定をしまし た。	同一メモリーカード内でプリント指定で きるコマ数は999コマまでです。
設定できません *** 設定できません	プリント予約できない画像ま たは動画にプリント予約しよ うとしました。	プリント予約できません。
回転できません 🎥 回転できません	他のカメラで撮影した画像ま たは動画を回転しようとしま した。	回転できません。
🎥 実行できません	他のカメラで撮影した画像、 動画、または再生できない画	これらの画像、動画は赤目補正できませ
田実行できません	像を赤目補正しようとしまし た。	ん。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターと の通信ができませんでした。	 パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 パソコンまたはUSBケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れてい るか、その他のプリンターエ ラーが発生しています。	 プリンターの用紙切れやインク切れ がないか確認してください。 プリンターの電源をいったん切って から、再び入れてください。 お使いのプリンターの使用説明書を お読みください。
プリンターエラー 再開しますか?	用紙またはインクが切れてい るか、その他のプリンターエ ラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は MENU/OK ボタンを押して、プリントを再開してください。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
プリントできません	他のカメラで撮影した画像ま たはプリンターが画像フォー マットに対応していない画像 をプリントしようとしまし た。	 お使いのプリンターの使用説明書を ご覧になり、プリンターがJFIF- JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォー マットに対応しているかご確認くだ さい。対応していない場合はプリン トできません。 このカメラで撮影したデータです か?このカメラで撮影したデータ以 外はプリントできないことがありま す。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像(動画はプリントできません。 このカメラで撮影したデータですか?このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

仕様

型番		FUJIFILM X100T				
有効画素数		1630万画素				
撮像素子		23.6mm×15.6mm(APS-Cサイズ) X-Trans CMOS IIセンサー、原 色フィルター採用				
記録メディ	ア	内蔵メモリー(約55MB) / SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / SDXCメモリーカード(UHS-I対応)(*1)				
	名称	フジノン単焦点レンズ				
1.5.7	焦点距離	f=23mm(35mm判換算:35mm相当)				
VJX	開放F値	F2				
	レンズ構成	6群8枚(非球面1枚)				
絞り		F2~F16、1/3EVステップ (9枚羽根)				
撮影可能範囲 (レンズ先端面からの距離)		標準:約50cm~∞ マクロ:約10cm~2.0m				
撮影感度		AUTO1 / AUTO2 / AUTO3 (ISO6400まで設定可能)、 ISO200~ISO6400(標準出力感度) ※ ISO100/12800/25600/51200は拡張モード				
露出制御		プログラムAE/絞り優先AE/シャッタースピード優先AE/マニュアル				
露出補正		-3.0EV~+3.0EV、1/3EVステップ				
露出補正 シャッタースピード		メカニカルシャッター: 4秒~1/4000秒(Pモード時)、30秒~1/4000秒(全モード合わせて)、バルブ(最長60分)、タイム:2秒~30秒 **Pモード時 F2:1/1000秒まで、F8以上:1/4000秒まで 電子シャッター: 1秒~1/32000秒(P/A/S/M全モード)、バルブ非対応(1秒固定)、タイム:1秒固定 メカニカル+電子シャッター: 4秒~1/32000秒(Pモード時)、30秒~1/32000秒(全モード合わせて) バルブ(最長60分)、タイム:2秒~30秒 バルブ(最長60分)、タイム:2秒~30秒 メカシャッター上限まで:メカシャッター メカシャッター上限まで:メカシャッター メカシャッター上限を超える~1/32000秒:電子シャッター				

フラッシュ	CMOS調光によるオートフラッシュ(スーパーiフラッシュ) 撮影可能範囲(感度ISO1600時) 約50cm~9m
ファインダー	 ハイブリッドビューファインダー 光学ファインダー (OVF) 電子式ブライトフレームファインダー (逆ガリレオ式) 撮影範囲フレーム視野率約92% ファインダー倍率約0.5倍 表示内容のカスタマイズ設定可能 (フレーム枠/フォーカス枠/露出表示/距離指標 など) 電子ビューファインダー (EVF) 0.48型 236万ドット 視野率約100% ファインダー倍率約0.65倍 電子式レンジファインダー (ERF) 光学ファインダー上にピントエリアを拡大表示 アイセンサー付き アイボイント 15mm 視席調節範囲
液晶モニター	-2~+1m-1 (dpt) 3.0型 3:2アスペクト TFTカラー液晶モニター 約104万ドット(視 野率約100%)
動画	1920×1080ピクセル(60フレーム/秒、50フレーム/秒、30フレーム /秒、25フレーム/秒、24フレーム/秒) 1280×720ピクセル(60フレーム/秒、50フレーム/秒、30フレーム /秒、25フレーム/秒、24フレーム/秒) 音声付き(ステレオ)
電源	充電式バッテリー NP-95(リチウムイオンタイプ)(付属)
寸法・質量	 本体外形寸法 (幅) 126.5mm×(高さ) 74.4mm×(奥行き) 52.4mm (奥行き最薄部 31.0mm) 撮影時質量 約440g(付属バッテリー、メモリーカード含む) 本体質量 約400g(バッテリー、メモリーカード含まず)
標準撮影枚数(*2)	約330枚

付属品	 充電式バッテリー:NP-95 (リチウムイオンタイプ) バッテリーチャージャー:BC-65N ショルダーストラップ ストラップリング ストラップリングカバー ストラップリング取り付け補助具 専用USBケーブル 専用レンズキャップ 使用説明書(基本操作編)・保証書一式
	使用說明書(基本採作編)·保証書一式

- *1 動作確認機種は、対応情報(デジタルカメラ)で掲載予定です。
- *2 CIPA規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアはSDメモリーカードを使用し測定。バッテ リーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するも のではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。

リンク

富士フイルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アク セスしてみてください。

FUJIFILM X100T製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリーなどがご覧になれます。

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/x/fujifilm_x100t/

FUJIFILM無料アプリケーション

富士フイルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン/タブレット/パソコンで写 真の楽しみ方が広がります。

http://fujifilm-dsc.com/

MyFinePix Studio (ビューアーソフト)

MyFinePix Studio (Windowsのみ)を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。

http://fujifilm-dsc.com/mfs/

RAW FILE CONVERTER

RAW画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTERを使用します。

http://fujifilm-dsc.com/rfc/

撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/knowledge/index.html

デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

http://fujifilm.jp/support/information/

お取り扱いにご注意ください



お取り扱いにご注意ください

▲ 注意			メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び	電源についてのご注意
\bigcirc	油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置 かない。	0	出す場合がありますので、指で受け止めた後 にカードを引き抜くこと。 飛び出したカードが当たり、けがの原因になる	※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読み ください。
\bigcirc	スページョン・ 実常な高温になる場所に置かない。 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当た る場所に置かないでください。		ことがあります。 を期的な内部点検・清掃を依頼する。 本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の	電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記を お読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命 が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。
0	火災の原因になることがあります。 小さいお子様の手の届くところに置かない。 けがの原因になることがあります。	<u> </u>	原因になることがあります。 ・2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店 にご依頼ください。	■ 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種 ※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使い になる前に必ず充電してください
\bigcirc	本製品の上に重いものを置かない。 バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、 けがの原因になることがあります。	\bigcirc	フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光し ないこと。 やけどの危険があります。	※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフ トケースに入れてください。
\bigcirc	AC パワーアダプターを接続したまま移動しな い。AC パワーアダプターを抜くときは、接続 コードを引っ張らない。	\bigcirc	フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだま ま発光しないこと。 発煙や変色の原因になります。	 ■バッテリーの特性 ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前(1~2日前)に充電したバッテリーを用意してください。
	電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の 原因になることがあります。 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み			 ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を 切ることをおすすめします。 ・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充
U	かゆるいときは使用しない。 火災・感電の原因になることがあります。 本製品や AC パワーアダプターや充電器を布			電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間 を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かく しておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイ
\bigcirc	や布団でおおったりしない。 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になる ことがあります。			ロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないように ご注意ください。
0	お手入れの際や長時間使用しないときは、電 池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、 電源プラグを抜く。 火災・感電の原因になることがあります。			 ● 充電について ・充電は周囲の温度が 0℃~+ 40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。 ・+ 10℃~+ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテ
電源プラグを 抜く	充電終了後は充電器をコンセントから抜く。 コンセントにつけたままにしておくと火災の原 因になることがあります。			リーの性能を劣化させないために充電時間が長くなること があります。充電は+10℃~+35℃の温度範囲で行って ください。
\bigcirc	フラッシュを人の目に近づけて発光させない。 一時的に視力に影響することがあります。 特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。			 ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、 使い切ったりする必要はありません。 ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つ ことがありますが、異常ではありません。 ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命で す。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- ・充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化すること があります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で 保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリー チャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
- 周囲の温度が+15℃~+25℃くらいの乾燥したところを おすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

(!) 危険ですので、次のことにご注意ください



- バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないよ うにしてください。
- 火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしない でください。

分解したり、改造したりしないでください。

- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、 バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱 を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生 には AC パワーアダプターをお使いください。

2 単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素 雷池使用機種

■取扱い上のご注意

- ・火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- ・プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネッ クレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管 しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- ・変形させたり、分解、改造をしないでください。

 ・外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。 常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用 ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでくださ い。

> 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたとき は使用しないでください。

高温、多湿の場所に保管しないでください。

 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。 ・カメラに電池を入れるときは、極性(⊕と⊖)に注意して

表示どおりに入れてください。

 新しい電池と使用した電池(充電式電池の場合:充電済み) の電池と、放電した電池)、あるいは種類やメーカーの異 なる電池を混ぜて使用しないでください。

 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください (電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされ ます)。

 ・使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り 外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待っ てから行ってください。

 ・寒冷地(+10℃以下)では電池の性能が低下し、使用可 能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの 傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてから お使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池 に触れないようにご注意ください。

 ・電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少 なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾い た柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部につ いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れて /!\ ください。

/!\

洗い流してください。また、液が目に入った場合 には失明の恐れがあります。こすらずに、きれい・ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り な水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくた めの注意

 お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不 活性し状態になっている可能性があります。また、まだ十分 に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生 じる可能性があります。

「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素 電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てき ます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放 電機能をお試しください。

「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有の もので、故障ではありません。

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電|機能を (!) 注意 使用しないでください。

・ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏 れ、発熱、破裂の原因になります。

・ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電 器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。 ・充電器では、指定外の電池を充電しないでください。

 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、 ご注意ください。

 カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。 ニッケル水素電池を長期間力メラに入れたままにすると過放 電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので 特にご注意ください。

- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用 可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく (懐中電灯などでの放電)。放電はカメラの「充電池放電| 機能をご使用ください。
 - 返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があり ます。

■電池の廃棄について

 ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してくださ い。

3 両機種(1、2)共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池 は、端子を絶縁するためにセロハンテープな

どをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの リサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてくだ さい。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページを ご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/ index.html

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。 カメラが故障する原因になることがあります。

照ください。

室内専用です。

- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んで ください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を 切って、プラグを持って抜いてください(コードを引っ張ら ■液晶について ないでください)。
- でください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが 故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありませ ん。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますの で、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをしましょう

- 小形充電式電池(リチウムイオンバッテリー)大切な撮影(結婚式や海外旅行など)をするときには、必)・ 🕰 、xD-Picture Card ™、xD-ピクチャーカード™は またはニッケル水素電池など)はリサイクル ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認 してください。
 - ※本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費) 用および撮影により得るであろう利益の喪失など)につい ・Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国および他 ては補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽し むなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できま せん。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人と して楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合 弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになると がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっ ている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送 AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用 いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが 正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意く ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しない ださい。万一のときは、応急処置を行ってください。 ・皮膚に付着した場合:付着物をふき取り、水で流し、石け・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用 んでよく洗浄してください。

・目に入った場合:きれいな水でよく洗い流し、最低15分 なることがあります。 間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

 ・飲み込んだ場合:水でよく口の中を洗浄してください。大 量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてくだ さい。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、 黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。こ れは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Imageは、 富十フイルム(株)の商標または登録商標です。
- 富士フイルム(株)の商標です。
- DvnaFont は、DvnaComware Taiwan Inc. の登録商 標です。
- の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- •Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3CLLC の商標です。 •HDMI ロゴは商標です。
- ・mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各 社の商標または登録商標です。
- ■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用するこ とを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン 受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすこ とがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因に

カメラの使用上のご注意

・カメラを強い光源(晴天時の太陽など)に向けないでくだ さい。撮像素子が破損する場合があります。 ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示 ■海外で使うとき パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまう・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内 ことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注 意ください。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。 雨天下、湿気やゴミ、ほごりの多いところ

- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、 高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ(放送塔、送電線、レーダー、 ■メモリーカード取扱上のご注意) モーター、トランス、磁石のそばなど)
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触する。 ところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本製品の大敵です。このカメラは、水中で使用で きる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有 害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意く ださい。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かない でください。バッテリー挿入部、メモリーカードスロット、端 子類のカバー(蓋)は、使用前に確実に閉まっていることを ご確認ください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故 障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露(つゆつき)にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだとき などに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと(結露) があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなっ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときな てからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつく ことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、 しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などにより 電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた 場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーション にご相談ください。

 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れ ないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃 を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原 ■ メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで 因になることがあります。

メモリーカード/内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

 メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可 能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してく ださい。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医 師と相談してください。

 メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入し てください。

 ・メモリーカードの記録中、消去(フォーマット)中は、絶対 にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしな いでください。メモリーカードが破壊されることがあります。 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理に ご使用になるとカメラの故障の原因になります。

 ・強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使 用、保管は避けてください。

- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラ が誤作動する場合があります。このような場合はいったん 電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- どに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温 かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。 メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- データが壊れたり、消失することがあります。大切なファ イルは別のメディア(ハードディスク、CD-R、CD-RW、 DVD-Rなど)にコピーして、バックアップ保存されること をおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータにつ いては保証できません。

・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させてい ただく場合があります。

使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモ リーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなお してください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォ ルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に 記録されます。
- パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ 名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでくだ さい。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用 できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディ スクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画 像ファイルを編集してください。

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

①本製品は、米国輸出規則(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、 米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線LAN機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線LAN機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ(画像)の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで 使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

• 産業 · 科学 · 医療用機器

- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
- (1)構内無線局(免許を要する無線局)

(2)特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

■本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に 注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。



本製品が 2.4GH z周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方 式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40 mであることを意 味しています。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

			Р	S	A	м	多重露出	ぐるっとパノラマ	動画	インターバル タイマー撮影
\		高速	~	~	~	~				
運写	<u></u>		~	~	~	~				
正述 AE ブラケティング ISO ブラケティング		~	~	~	~				~	
		~	~	~	~				~	
ブラ	ケティング	フィルムシミュレーション BKT	~	~	~	~				~
		ホワイトバランス BKT	~	~	~	~				~
		ダイナミックレンジ BKT	~	~	~	~				 ✓
	フォーカスエ!	J ア選択	~	~	~	~	~	✓1	✓1	~
	マクロ		~	~	~	~	~	~		v
オ	レリーズ優先	/ フォーカス優先	~	~	~	~	~	~		
	ワンプッシュ	AF 時の動作	~	~	~	~	~	~		
フ オ		オートエリア	~	~	~	~	~	✓2	✓2	 ✓
	AFTT	エリア選択	~	~	~	~	~	✓2	✓2	 ✓
える	顔キレイナビ		~	~	~	~	~		 ✓ 	 ✓
跫	プリ AF		~	~	~	~	~	 ✓ 		 ✓
	AF 補助光		~	~	~	~	~			 ✓
	AF フレーム補	ÎE	~	~	~	~	v			
	H (51200)/H (25600)/H (12800)		~	~	~	~				 ✓
		6400 ~ 1000	~	~	~	~	~	 ✓ 		 ✓
感度		800 ~ 200	~	~	~	~	~	 ✓ 		 ✓
		L (100)	~	~	~	~				 ✓
		AUTO1/AUTO2/AUTO3	~	~	~	~	~	 ✓ 		 ✓
		L	~	~	~	~	~			 ✓
画像サイズ M S		~	~	~	~	~			v	
		~	~	~	~	~	✓3		 ✓ 	
		FINE	~	~	~	~	~	 ✓ 		v
		NORMAL	~	~	~	~	~	 ✓ 		 ✓
画質 [:]	E−ド	FINE+RAW	~	~	~	~				 ✓
		NORMAL+RAW	~	~	~	~				 ✓
		RAW	~	~	~	~				 ✓

		Р	S	A	м	多重露出	ぐるっとパノラマ	動画	インターバル タイマー撮影
	AUTO	~	~	~	~		V		~
ダイナミックレンジ	100%	~	~	~	~	~	 ✓ 		~
	200% /400%	~	~	~	~				~
フィルムシミュレーシ	ノヨン	~	~	~	~	~	~	~	~
ND フィルター		~	~	~	~	~	~		~
カラー		~	~	~	~	~	~		~
シャープネス		~	~	~	~	~	~		~
ハイライトトーン		~	~	~	~	~	~		~
シャドウトーン		~	~	~	~	~	~		~
ノイズリダクション		~	~	~	~	~	~		~
長秒時ノイズ低減		~	~	~	~	~	 ✓ 		~
ホワイトバランス		~	~	~	~	~	 ✓ 	~	~
カスタム選択		~	~	~	~	~			~
カスタム登録 / 編集		~	~	~	~	~			
ファンクション (Fn)	設定	~	~	~	~	~	 ✓ 		
	フレーミングガイド	~	~	~	~	~			
	電子水準器	~	~	~	~	~		~	
	AF 時の距離指標	~	~	~	~	~			
	MF 時の距離指標	~	~	~	~	~		~	
	ヒストグラム	~	~	~	~	~			
	絞り / シャッター速度 / ISO	~	~	~	~	~	 ✓ 		
	露出補正バー	~	~	~	~	~	 ✓ 	~	
両面のカフタフィブ	測光	~	~	~	~	~			
	フラッシュ	~	~	~	~	~			
	ホワイトバランス	~	~	~	~	~	~	~	
	フィルムシミュレーション	~	~	~	~	~	 ✓ 	<i>v</i>	
	ダイナミックレンジ	~	~	~	~	~	 ✓ 		
	撮影可能枚数	~	~	~	~	~	 ✓ 		
	画像サイズ & 画質モード	~	~	~	~	~	~		
	動画モード & 録画時間	~	~	~	~	~	~	✓ ⁴	
	バッテリー残量表示	~	~	~	~	~	 ✓ 	~	

		Р	S	A	м	多重露出	ぐるっとパノラマ	動画	インターバル タイマー撮影
コンバージョンレン	1ンバージョンレンズ		~	~	~	V	V	V	V
	スタンダード	~	~	~	~	~	✓5	✔5	~
MF アシスト	デジタルスプリットイメージ	~	~	~	~	~			~
	フォーカスピーキング	~	~	~	~	 ✓ 			~
アドバンストフィル	<i>9</i> —	~	~	~	~				~
インターバルタイマ	一撮影	~	~	~	~				
セルフタイマー		~	~	~	~	v			
AE/AF-LOCK 設定		~	~	~	~	¥	¥		
AE/AF-LOCK 機能還	選択	~	~	~	~	v	V		
	マルチ	~	~	~	~	V	✔6	✔6	~
測光	スポット	~	~	~	~	~			~
	アベレージ	~	~	~	~	~			~
測光 & フォーカスエ	測光 & フォーカスエリア連動		~	~	~	~			~
赤目補正		~	~	~	~				~
補正前画像記録		~	~	~	~				 ✓
	オート	~				✓7			~
	強制発行	~	~	~	~	 ✓ 			 ✓
フラッシュエード	スローシンクロ	~		~		✓7			~
	コマンダー	~	~	~	~	~			~
	外部フラッシュ	~	~	~	~	~			~
	発光禁止	~	~	~	~	v			 ✓
フラッシュ調光補正		~	~	~	~	~			~
シャッター方式		~	~	~	~	v			~
	動画モード							~	
動画設定	動画感度							 ✓ 	
	マイクレベル設定							~	
消費電力設定	OVF 撮影枚数 UP	~	~	~	~				

1 AF エリアは画面中央に固定されます。

2 **エリア選択**に固定されます。

3**S**に固定されます。

4常に表示されます。

5 **スタンダード**に固定されます。

6 **マルチ**に固定されます。

7 撮影モードにより、選択できるモードが異なります。

| アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存 してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か 迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。 電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、 サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項 をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故 障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料にな ります。
- ・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」 欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせてい ただきます。なお、見積は有料となります。
- ・ 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても
 機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含む ユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品お よびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修 理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護 するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問 い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情 報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 2.弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に 当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲 内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあ たりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委 託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行いま す。
- 3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、 FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理 サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛 にお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の □ は、該当する項目にチェック (✔) を入れてください。

フリ	ガナ					- 雷託米巳		
おタ								
						FAX 番号		
ご住	Ē	Ŧ	_					
制品	3名(型名)					ボディ番号(機番 保証書あるいは本 8 桁の番号です。 修理お問い合わせ	₹) ≤体底面に記載してある ±時にご連絡ください。	NO.
		□保証書		•	□メモリーカード	・ ロバッテ!	U—	
修理品への添付		□ () 🗌 ()
		□ () 🗌 ()
見積		□要(修	多理金額		P	3以上見積り)・	□不要	
見積	連絡方法	□電話		•	□ FAX			
故障 (故M	症状 章時の様子)							
ご購	入時期	20	年	月				※保証書を添付してください。
修理	履歴	□初回		•	□再依頼(□同一症状	 □別症状) 		
	発生頻度	□開始問	ものみ	•	□いつも ・		(こ 回)	
発生	動作モード	□再生問	5	•	□撮影時 ·	□ショックを与え	ると	
状況	他機との接続	□無		•	□有(接続機)
	使用電源							

索引

[A~Z]			
AE/AF-LOCK機能選択	168	ISO感度	137
AE/AF LOCK設定	167	ISOブラケティング(ブラケティング撮影)	83
AEブラケティング	82	LCD明るさ	219
AEロック	104	LCD鮮やかさ	219
AE/AFロック	104	M(マニュアルフォーカス)	108
AEL/AFLボタン	106,112	MFアシスト	162
AF(オートフォーカス)	51,133	mixi	193
AFエリア選択	134	MyFinePix Studio	235,271
AF警告	51,263	NDフィルター	143
AFフレーム補正	136	OVF(光学ファインダー)	25
AF補助光	135	OVF撮影枚数UP	224
AFモード	134	PC保存	203
AFロック	104	PC保存先設定	228
AUTO(感度)	137	PC保存設定	227
C(コンティニュアスAF)	108	PictBridge(ピクトブリッジ)	196,237
DISP/BACKボタン	17	Ρ プログラム	68
DPOF指定	196	Q(クイックメニュー)ボタン	76
DRIVEボタン	24	RAW FILE CONVERTER	235,271
ERF(電子式レンジファインダー)	26,114	RAW画像	117
EVF(電子ビューファインダー)	18,19,27,30	RAW現像	181
EVF明るさ	219	S(シングルAF)	108
EVF鮮やかさ	219	SDHCメモリーカード	42
EVF縱橫自動回転表示	218	SDXCメモリーカード	42
FACEBOOK	193	SDメモリーカード	42
Fn(ファンクション)ボタン	78,157	USB接続	235,238
FUJIFILM Camera Remote	233	VIEW MODEボタン	13
FUJIFILM PC AutoSave	234	WBシフト	124,151,182
HDMI	4,244	Webアップロード	193
instaxプリンター接続設定	230	Wi-Fiボタン	5,233,234
instaxプリンタープリント	199	YouTube	193

[あ]			
アイセンサー	13,14	インジケーターランプ	23
赤目軽減	97,173	インターバルタイマー撮影	94,164
赤目補正	171,189	液晶モニター(LCD)	18,19,27,30
アダプターリング	251	エリア選択	134
アップロード先設定	193	オートエリア	134
アドバンストフィルター	127,163	オートフォーカス(AF)	51,133
アフターサービス	282	オートフォーカスが苦手な被写体	107
アベレージ	116	オートフォーカス設定	133
位置情報記録	229	オートフラッシュ	96,173
位置情報設定	229	お気に入り	53
位置情報表示	229	音設定	217
色温度設定	126,153	お店プリント	242
色空間	231	温度警告	263
印刷	237		
[か]			
海外で使うとき	277	画面のカスタマイズ	158
外部フラッシュ	96,173	カラー	144
外部マイク	64	感度	137
顔キレイナビ(顔検出機能)	134	基準ISO感度	137
拡大表示	110	機能の割り当て	78
拡張感度	137	強制発光	96,173
各部の名称	3	共通設定	227
画質モード	139	距離指標	113
カスタム選択	154	距離指標の単位	221
カスタム登録/編集	155	切り抜き(トリミング)	185
カスタムホワイトバランス設定	125,152	記録画素数	268
画像回転	188	クイックメニュー	76
画像コピー	195	クイックメニュー登録/編集	223
画像サイズ	138	クリップオンフラッシュ	245
合焦マーク	109	グリップベルト	254
[か]			
----------------------	--------	-----------------------	---------
ぐるっとパノラマ	88	$\exists \forall NO.$	214
言語設定	47,211	コマンダー	96,173
光学ファインダー	25	コマンドダイヤル	7
工場出荷時の設定(撮影メニュー)	129	コンティニュアスAF	108
工場出荷時の設定(セットアップメニュー)	206	コンバージョンレンズ	159,249
[č]			
再生音量	217	消去(静止画)	59,183
再生ズーム	56	上限ISO感度	137
再生メニュー	180	焦点距離	268
再生モード	53	消費電力設定	224
撮影画像表示	218	初期化(フォーマット)	232
撮影可能範囲	268	初期設定	45
撮影可能枚数	269	シングルAF	108
撮影時情報	54	スーパーiフラッシュ	269
撮影メニュー	128	スタンダード(MFアシスト)	162
撮影モード	8	ステレオマイク	250
自動電源OFF	224	ストラップ	32
視度調整ダイヤル	22	スピーカー	4
絞り優先	72	スポット	169
絞りリング	8	スマートフォン送信時3M圧縮	227
シャープネス	145	スマートフォン通信	233
シャッター音	217	スライドショー	190
シャッター音量	217	スローシンクロ	96,173
シャッター回数	225	静止画再生	53
シャッタースピード	70,74	静止画撮影	48
シャッタースピードダイヤル	8	世界時計	210
シャッタースピード優先	70	セットアップメニュー	204
シャッター方式	176	セルフタイマー	93,166
シャッターボタン	3,51	セレクターボタン	6
シャドウトーン	147	セレクターボタン設定	222
充電	34	全押し	52,105

[č]			
充電器	246	全コマ解除(プリント予約)	198
充電式バッテリー	246	全コマ消去	61,184
充電(パソコンに接続してバッテリーを充電)	37	操作音量	217
修理	283	測光	115,169
仕様	268	測光&フォーカスエリア連動	170
使用可能なメモリーカード	42	その場で選んでプリント	239
[た]			
ダイナミックレンジ	140	電源レバー	43
ダイナミックレンジブラケティング(ブラケティング撮影)	82、83	電子式レンジファインダー(ERF)	26,114
タイム撮影	119	電子シャッター	176
多重露出	85	電子水準器	20
縦表示(EVF)	28	電子ビューファインダー	27
縱橫自動回転再生表示	218,221	電池(バッテリー)	34,35, 44,246
長時間露出	119	動画感度	177
長秒時ノイズ低減	149,130	動画再生	65
低速シャッター限界	137	動画再生速度	67
デジカメプリント	196,242	動画撮影	62
デジカメプリントの注文	243	動画撮影の残り時間	62
テレコンバージョンレンズ	249	動画設定	177
テレビ接続	244	動画モード	177
電源	43	トリミング	185
[な]			
ナビゲーション	57	日時設定	46,209
ノイズリダクション	148	日時設定の変更	47
内蔵メモリー	26		
[は]			
パートカラー	127	パソコンへの画像保存	234,203
ハイキー	127	パソコン接続	23,37,235
ハイパフォーマンス	207	発光禁止	96
ハイブリッドビューファインダー	16	バッテリー	34, 35, 44,246
ハイライトトーン	146	バッテリーチャージャー	246

[は]			
バッテリー残量表示	37	フォーカスモード	108
パノラマ写真	88	フォーカスリング	3,215
バルブ撮影	120	フォーマット(初期化)	232
半押し	51,104	フォトブックアシスト	191
ハンドグリップ	254	複数指定消去	60
ピーキング	114	付属品	1
ピクチャーサーチ	194	ブライトフレーム	161
ピクトブリッジ	237	ブラケティング撮影	82
被写界深度確認	73	フラッシュ	96,173
ヒストグラム表示	21	フラッシュ調光補正	175
1コマ消去	60	フラッシュモード	173
1コマ再生	53	プリAF	135
表示設定	218	プリンター接続	237
表示比率	201	プリントサービス店でプリント	242
ピント合わせ(フォーカス)	108	プリントの中止	241
ピントの確認	113	プリント予約(DPOF)	196
ピント位置確認	55	プリント予約した設定でプリント	240
ファイル名編集	226	フレーミングガイド	220
ファインダー	13,25,26,27	プログラム	48,68
ファインダー切換レバー	15	プログラムシフト	69
ファンクション(Fn)設定	157	プロテクト	187
ファンクションボタン	78	プロテクトフィルター	254
フィルムシミュレーション	121	フロントリング	159,251
フィルムシミュレーションBKT	83	補正前画像記録	172
フォーカスエリア	98	ボタンロック	6
フォーカスエリアポイント	99	ポップカラー	127
フォーカスチェック	113,216	ホワイトバランス	150
フォーカスピーキング	162,114	ホワイトバランスブラケティング(ブラケティング撮影)83	

[ま]			
マイク	3	マルチ(測光)	169
マイク/リモートレリーズ設定	178	マルチ再生	58
マイクレベル設定	132,178	ミニチュア	127
マイクロサムネイル	58	無線LAN機能	227,233
マクロ(オートフォーカス設定)	129	メカニカル+電子シャッター	176
マクロ撮影	91	メカニカルシャッター	176
マナーモード	213	メモリーカード	42
マニュアル	12,74	モニター撮影効果反映	219
マニュアルフォーカス	108,111	モニター晴天モード	219
マニュアル時モニター露出反映	218		
[6]			
リサイズ	186	レンズフード	253
リセット	212	□−≠−	127
リモートレリーズ	247	露出インジケーター	74
レザーケース	254	露出設定プレビュー	75
レリーズ優先/フォーカス優先	133	露出補正	102
連写	84	露出補正バー	102,131
レンズキャップ	1		
[わ]			
ワイヤレス設定	227		
ワイヤレス通信	179,202		
ワンプッシュAF時の動作	112		
ワイドコンバージョンレンズ	161,249		